

2020 年度前期授業に関する学生アンケート
集計結果報告書

2020 年 11 月

大谷大学インスティテューショナル・リサーチ室

■ 目次

実施概要	1
全体集計結果	2
■ 基本データ（学年・所属） Q1～Q2.....	2
■ 学修環境 Q3～Q4.....	2
■ オンライン授業の全体的メリット・デメリット Q5～Q6（複数回答可）	3
■ オンライン授業に関する全体的満足度 Q7.....	6
■ 授業スタイル別の満足度等 Q8～Q36.....	7
■ 自由記述 Q37	9
学科別集計結果（募集停止中の学科を除く）	10
■ 文学部真宗学科.....	10
■ 文学部仏教学科.....	14
■ 文学部哲学科	18
■ 文学部歴史学科.....	22
■ 文学部文学科	26
■ 文学部国際文化学科.....	30
■ 社会学部現代社会学科.....	34
■ 社会学部コミュニティデザイン学科.....	38
■ 教育学部教育学科初等教育コース.....	42
■ 教育学部教育学科幼児教育コース.....	46
自由記述	50
■ オンライン授業に関して感じたメリット・デメリット（Q5～Q6）	50
■ 自由記述（Q37）	50
結びに代えて.....	55
実施要項	58
アンケート調査票（質問項目）	59

実施概要

2020年度前期は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本学でも例年通りの形態での授業を実施することが困難な状況となった。本アンケート調査は、通常時の「学生による授業評価アンケート」が実施困難となったことを受け、オンライン授業に関連する質問項目も新たに用意したうえで、この前期の状況について振り返るための調査として設計・実施した。

調査主体：大谷大学 IR 室

実施期間：2020年7月27日（月）～ 8月7日（金）

実施方法：Web アンケート調査（Microsoft Forms）

調査対象：学部生、短期大学部生、大学院生、その他（科目等履修生等）

有効回答者数：691名（回答率 20.9%）

全体集計結果

■ 基本データ（学年・所属） Q1～Q2

学科等	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計
(文) 真宗学科	16	6	10	11	43
(文) 仏教学科	6	5	4	6	21
(文) 哲学科	18	16	15	3	52
(文) 歴史学科	68	32	24	8	132
(文) 文学科	23	19	15	8	65
(文) 国際文化学科	31	23	16	9	79
(文) 社会学科			1	9	10
(文) 人文情報学科				10	10
(文) 教育心理学科			1	16	17
(社) 現代社会学科	38	34	18		90
(社) コミュニティデザイン学科	32	19	12		63
(教) 初等教育コース	18	16	13		47
(教) 幼児教育コース	20	9	6		35
大学院修士課程					21
大学院博士課程					6
総計	270	179	135	80	691

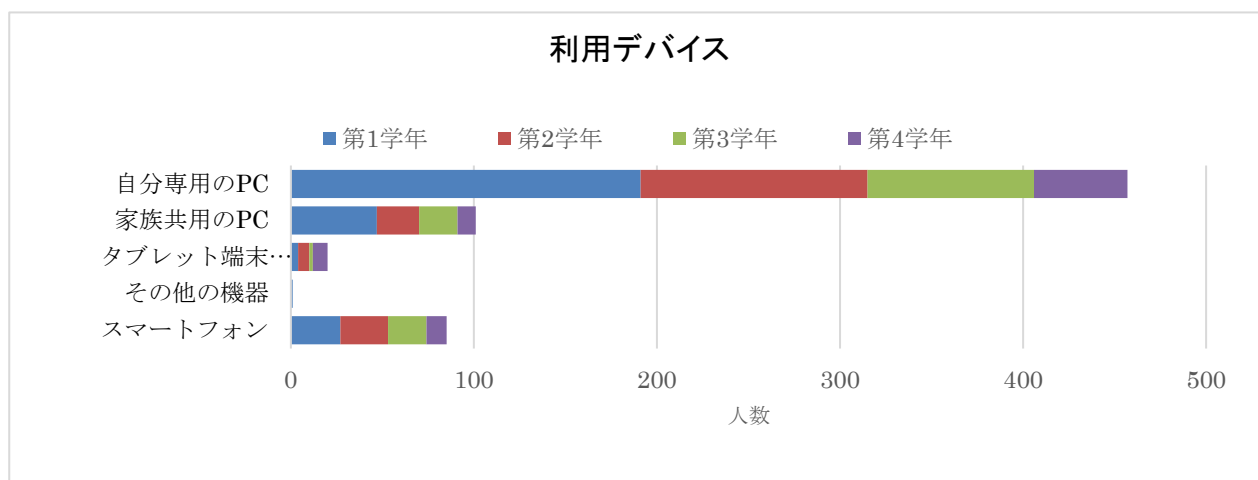
回答者数 691名
(回答率 20.9%)

■ 学修環境 Q3～Q4

Q3 [学修環境] 以下の選択肢のうち、あなたが今期のオンライン授業でもっとも多く使用したものを、1つだけ選んでください

利用デバイス×学年(学部のみ、n=664)

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計
自分専用のPC	191	124	91	51	457
家族共用のPC	47	23	21	10	101
タブレット端末(iPadなど)	4	6	2	8	20
その他の機器	1	0	0	0	1
スマートフォン	27	26	21	11	85
総計	270	179	135	80	664



・自分専用PC (約 69%) が多数派とはいえ、PC 前提の授業に対応できない学生も一定数いた。

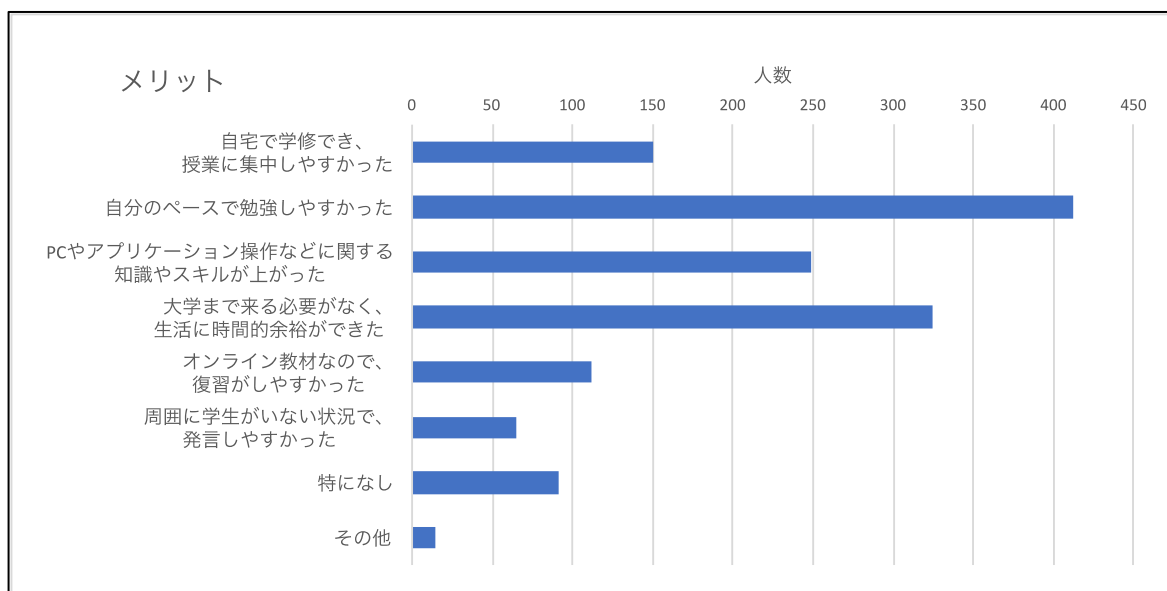
Q4 [学修環境] ご自宅等、あなたが前期もっともよく授業を受けていた場所に、通信料金（通信量の上限）を気にせず可以使用できるインターネット環境（PCの有線または無線LAN環境、スマートフォン用Wi-Fi環境など）はありましたか。以下の選択肢から1つ選んでください。

通信環境×学年（学部のみ、n=664）	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計
前期の開始時点からあった	213	150	113	68	544 (82%)
前期の途中からあった	35	15	8	5	63 (9%)
わからない	11	8	4	3	26 (4%)
なかった （テザリングによるPCのネット接続を含む）	11	6	10	4	31 (5%)
総計	270	179	135	80	664 (100%)

・LANやWi-Fi環境は「前期開始時点から」が約8割。ただし「なかった」(5%)も無視できない。

■ オンライン授業の全体的メリット・デメリット Q5～Q6（複数回答可）

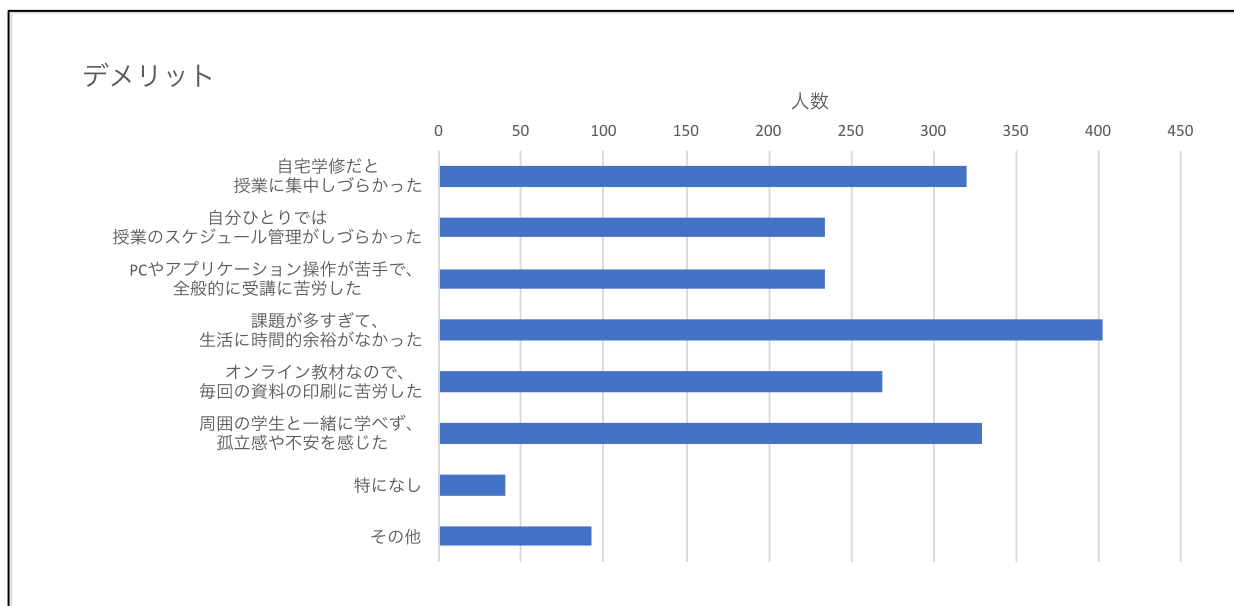
Q5. <感じたメリット> (n=691。ただし複数回答可)



[メリット] の選択肢（複数回答可）	度数	満足度(Q7) 平均
自宅で学修でき、授業に集中しやすかった	150	3.59
自分のペースで勉強しやすかった	412	3.16
PCやアプリケーション操作などに関する知識やスキルが上がった	249	3.02
大学まで来る必要がなく、生活に時間的余裕ができた	325	3.18
オンライン教材なので、復習がしやすかった	112	3.36
周囲に学生がいない状況で、発言しやすかった	65	3.18
特になし	91	1.70
その他	14	3.21

- ・メリット面で多かった声は「自分のペースで勉強しやすかった」「大学まで来る必要がなく、生活に時間的余裕ができた」だった。
- ・また、満足度 (Q7) 上昇との関連が比較的深い項目としては、「自宅で学修でき、授業に集中しやすかった」「オンライン教材なので、復習がしやすかった」が挙げられる。

Q6. <感じたデメリット> (n=691。ただし複数回答可)

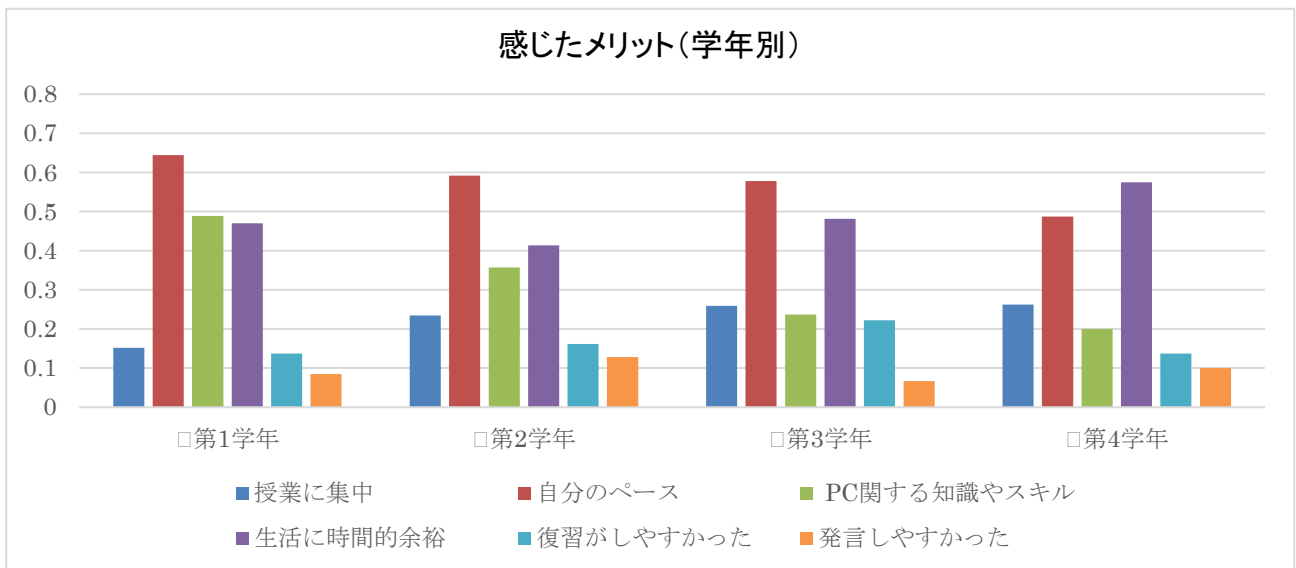


[デメリット] の選択肢 (複数回答可)	度数	満足度(Q7) 平均
自宅学修だと授業に集中しづらかった	320	2.51
自分ひとりでは授業のスケジュール管理がしづらかった	234	2.40
PCやアプリケーション操作が苦手で、全般的に受講に苦労した	234	2.51
課題が多すぎて、生活に時間的余裕がなかった	403	2.54
オンライン教材なので、毎回の資料の印刷に苦労した	269	2.46
周囲の学生と一緒に学べず、孤立感や不安を感じた	329	2.53
特になし	40	4.03
その他	92	2.51

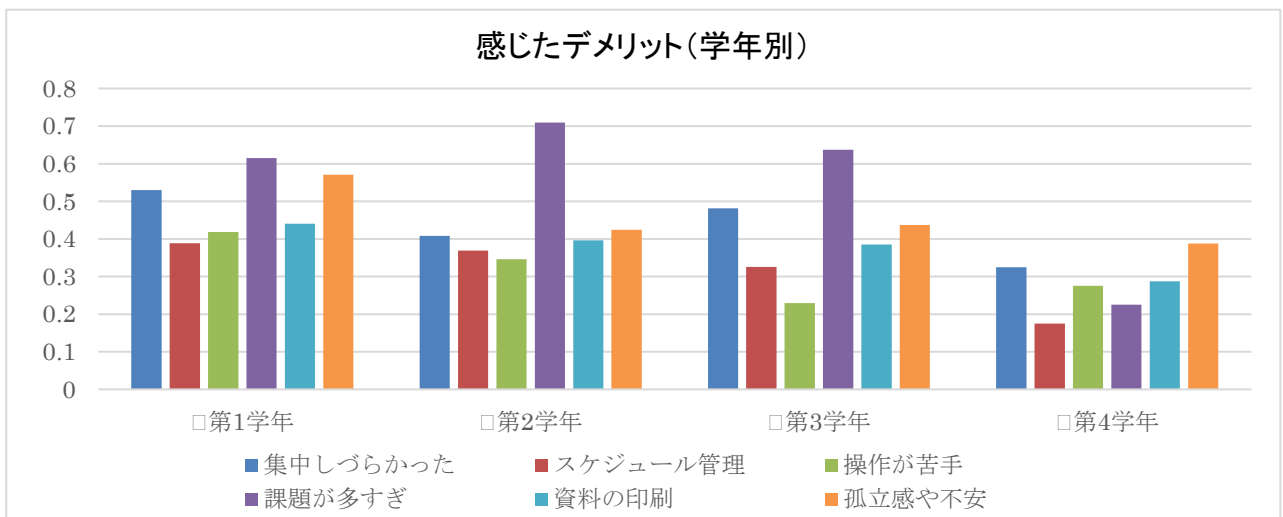
- ・デメリット面で多く指摘されたのは「課題が多すぎて、生活に時間的余裕がなかった」「周囲の学生と一緒に学べず、孤立感や不安を感じた」「自宅学修だと授業に集中しづらかった」だった。
- ・また、満足度 (Q7) 下降との関連が比較的深い項目としては、「自分ひとりでは授業のスケジュール管理がしづらかった」「オンライン教材なので、毎回の資料の印刷に苦労した」が挙げられる。

cf. Q5-Q6<学年別>

(学部のみ。割合で算出。回答数は第1学年 270、第2学年 179、第3学年 135、第4学年 80)



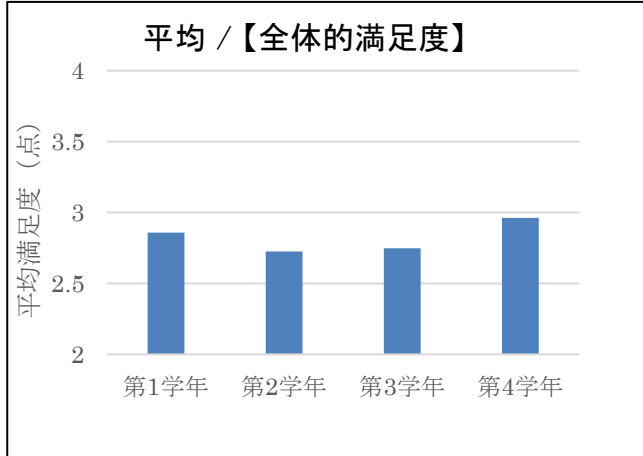
・第1学年・第2学年は、PCに関するスキル向上のきっかけになっている。



・孤立感に関しては、第1学年が強く感じている。

■ オンライン授業に関する全体的満足度 Q7

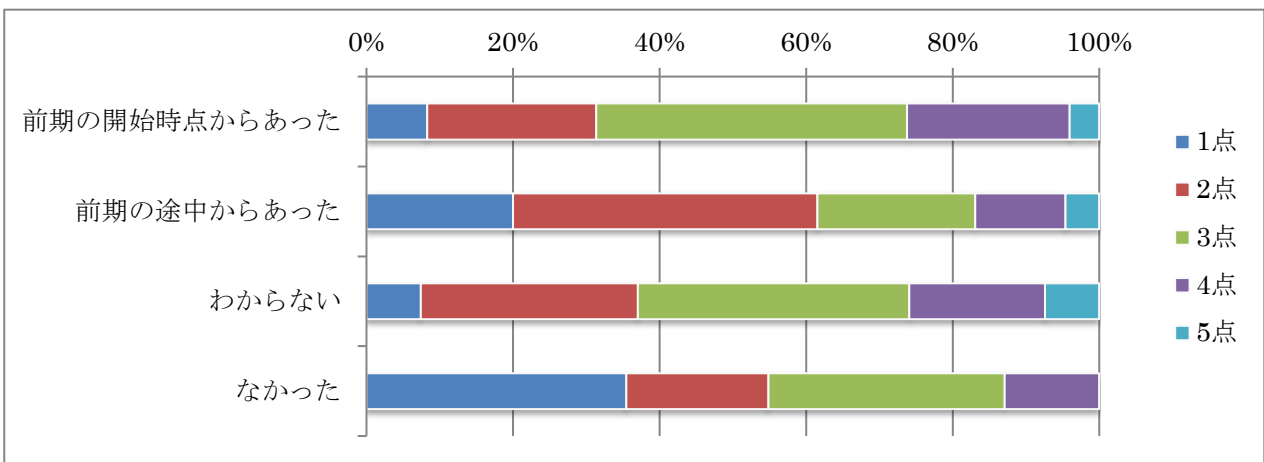
全体平均 2.83 (5点満点、n=691)



▽ 学年とのクロス集計 (学部のみ、n=664)

・全体平均では中央値 (3点) を下回る結果となり、学年とのクロス集計では、第2学年と第3学年で低い数値となった。

▽ 通信環境とのクロス集計 (Q4×Q7 : 割合で算出、n=691)



・通信環境 (Q4) と全体的満足度 (Q7) とのクロス集計では、上の2本の棒グラフ、つまり「前期の開始時点からあった」と、「前期の途中からあった」(および「なかった」)との間にはっきりとした差が見られた。

■ 授業スタイル別の満足度等 Q8～Q36

【文書資料+課題提出型】(UNIPA等) Q8～Q14

【動画資料+課題提出型】(UNIPA等) Q15～Q22

【ライブ(リアルタイム)型】(Microsoft Teams、Zoom等) Q23～Q29

【対面型授業】 Q30～Q36

▽ スタイル別の回答数(全体691名中)および満足度(Q14, Q21, Q29, Q36)

	文書資料	動画資料	ライブ型	対面授業
受講した	677名(98.0%)	606名(87.7%)	621名(89.9%)	476名(68.9%)
満足度 (5点満点)	2.86	3.20	3.28	3.94

* そのタイプの授業を受講したことがある学生のみが回答

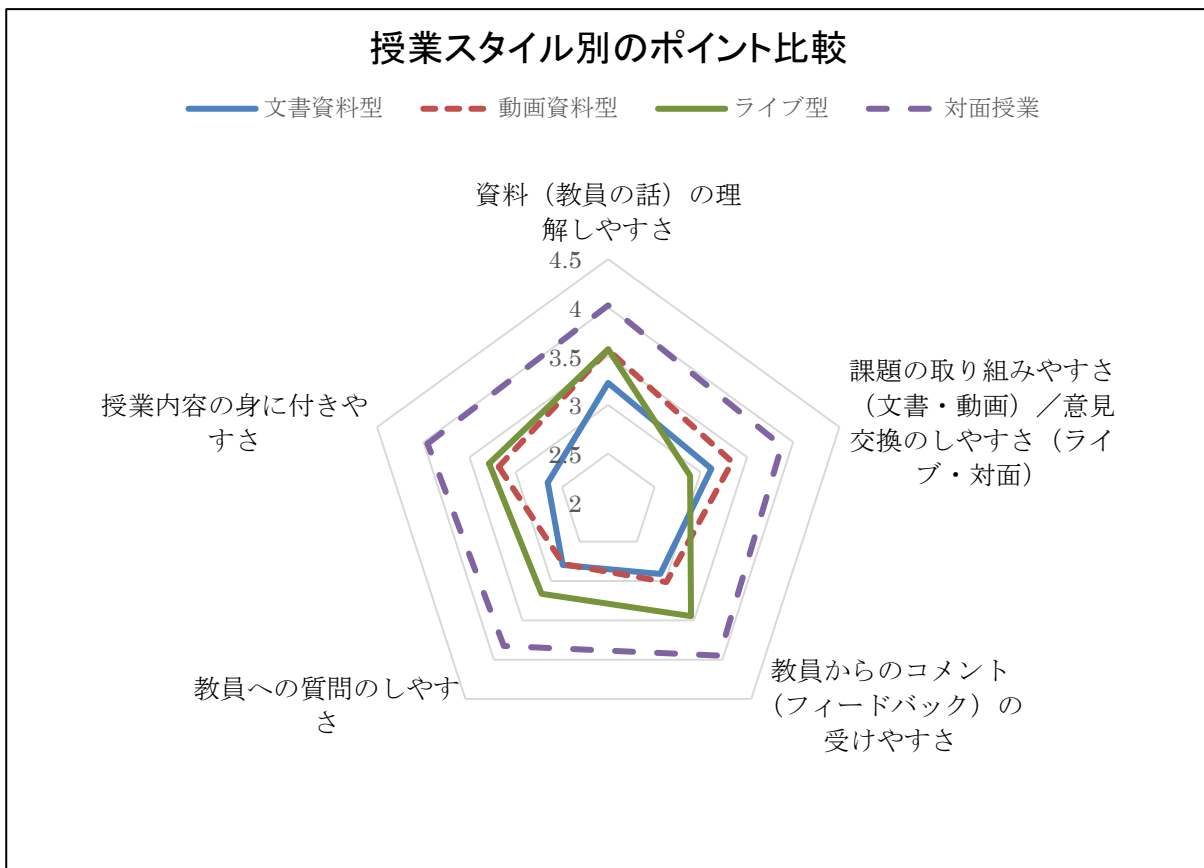
・<授業スタイル別の満足度>は、対面型授業が突出して高く、ついでライブ型、(僅差で)動画資料型、最後に文書資料型という結果になった。

▽ 項目別の評価(5点満点)

	文書資料	動画資料	ライブ型	対面授業
資料(教員の話)の理解しやすさ	3.23	3.57	3.57	4.03
課題の取り組みやすさ 【文書・動画】	3.12	3.34		
学生間の討論や意見交換のしやすさ 【ライブ・対面】			2.89	3.88
教員からのコメント(フィードバック)の受けやすさ	2.91	3.01	3.45	3.95
教員への質問のしやすさ	2.80	2.79	3.16	3.83
授業内容の身に付きやすさ	2.65	3.18	3.29	3.95

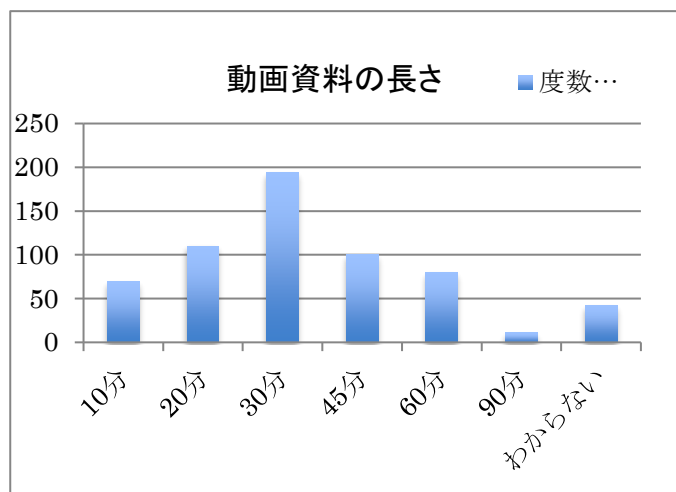
(次ページのグラフを参照)

▽ レーダーチャート



- ・対面型授業がすべての項目において高スコアを示した。
- ・ライブ型（Microsoft Teams、Zoom 等）は、「学生間での討論や意見交換のしやすさ」においては対面型授業に大きく差をつけられたものの、概ね高いスコアを示した。
- ・動画資料（YouTube、音声付き PowerPoint 等）型は、「教員からのコメント（フィードバック）の受けやすさ」「教員への質問のしやすさ」においてライブ型には及ばなかったものの、それ以外の項目ではライブ型に引けを取らないスコアを示した。
- ・文書資料型は、すべての項目において低スコアにとどまったが、なかでも「授業内容の身に付きやすさ」において特に低いスコアを示した。

cf. 【動画資料型】授業 1 回あたりの適切な動画の長さ Q22 (n=606)



* 合計値。例えば 1 コマ内で 10 分の動画を 3 本視聴する場合は「30 分」とカウントする。

・「30 分」が最大多数となった
(算術平均は 31.4 分)。

■ 自由記述 Q37

自由記述欄の回答 (Q37 および Q5~Q6 の「その他」回答に付されたコメント) については、本報告書の 50 頁以降を参照されたい。

学科別集計結果（募集停止中の学科を除く）

■ 文学部真宗学科

n=43（第1学年 16、第2学年 6、第3学年 10、第4学年 11）

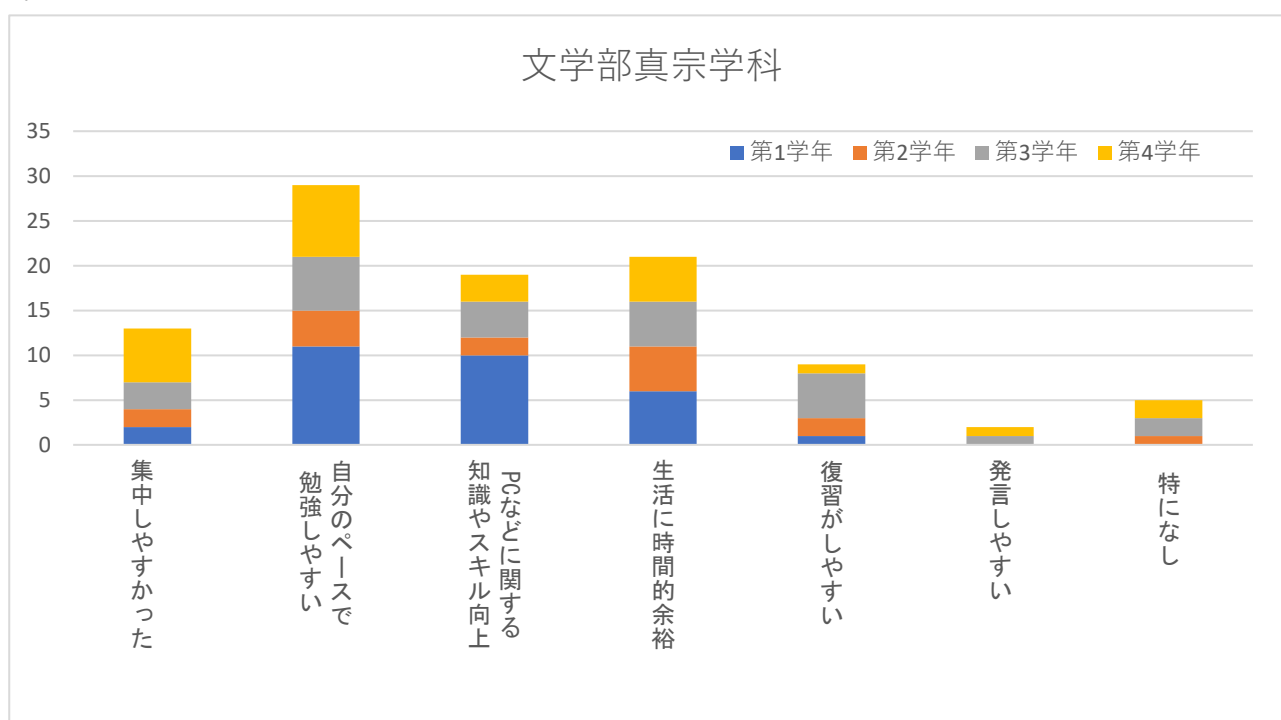
Q3. 学習環境

文学部真宗学科	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計
自分専用のPC	12	4	8	9	33
家族共用のPC	1	1			2
スマートフォン	3	1	2	2	8
総計	16	6	10	11	43

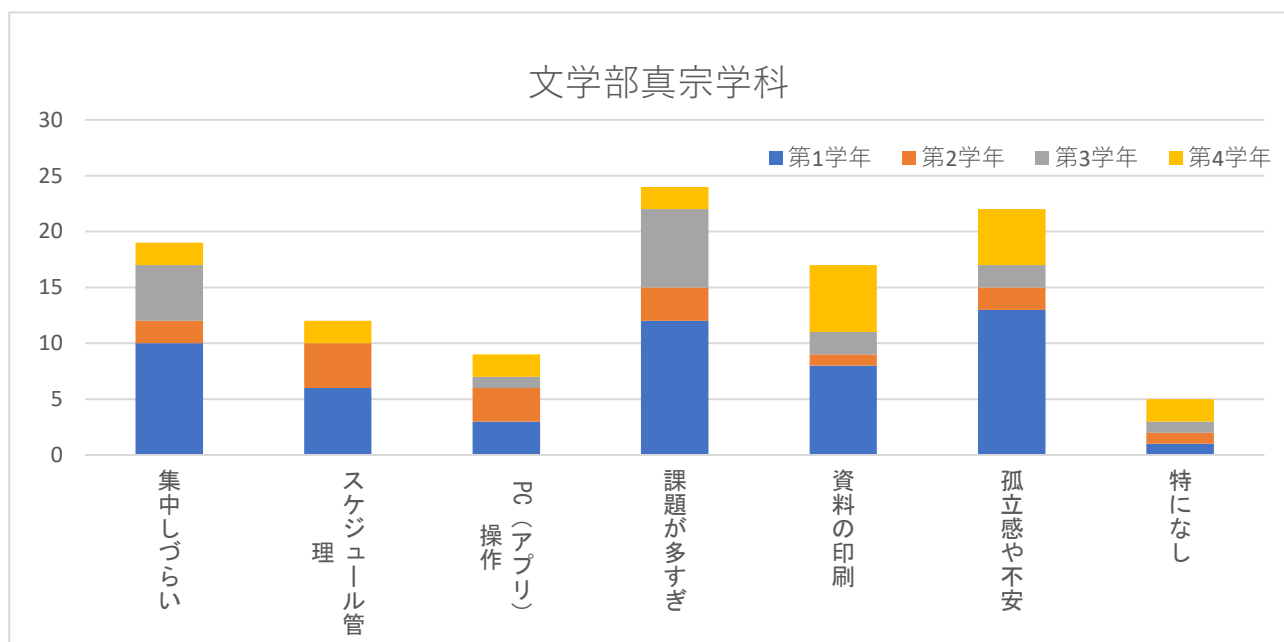
Q4. 通信環境

文学部真宗学科	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計
前期の開始時点からあった	10	6	9	9	34
前期の途中からあった	5				5
わからない				1	1
なかった （テザリングでPCのネット 接続を含む）	1		1	1	3
総計	16	6	10	11	43

Q5. メリット（複数回答可）



Q6. デメリット（複数回答可）



Q7. 全体的満足度

学科平均 **2.91** (標準偏差 1.24)

Q8～Q36. 授業スタイル別の満足度等

▼ 文書資料型

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計/全体
回答数	16	6	10	11	43
満足度平均	3.06	3.33	3.30	2.73	3.07

▼ 動画資料型

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計/全体
回答数	16	6	10	8	40
満足度平均	2.88	3.33	3.80	3.50	3.30

▼ ライブ型

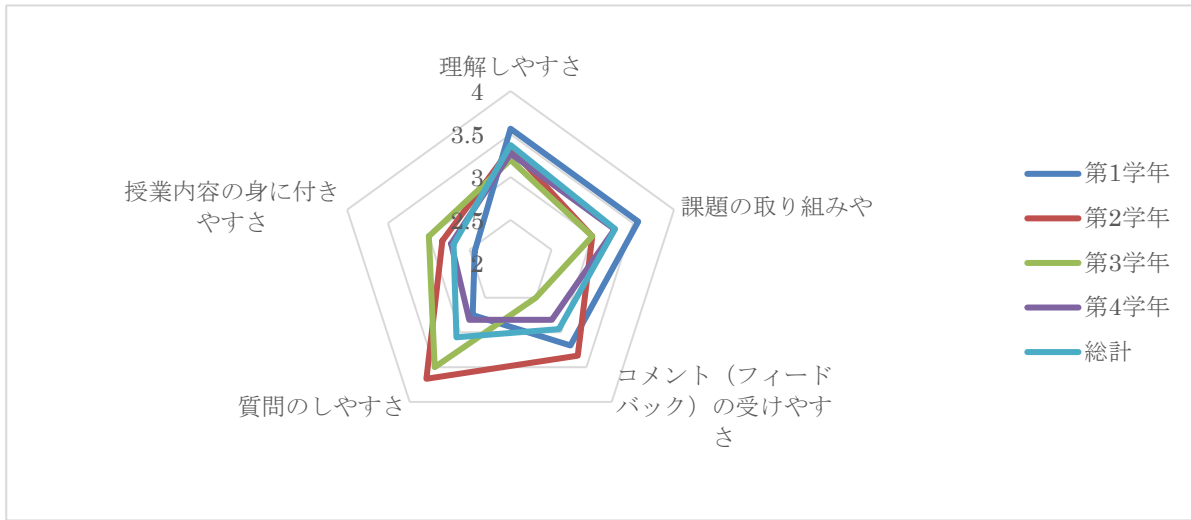
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計/全体
回答数	16	5	10	11	42
満足度平均	3.50	3.20	3.30	3.55	3.43

▼ 対面型授業

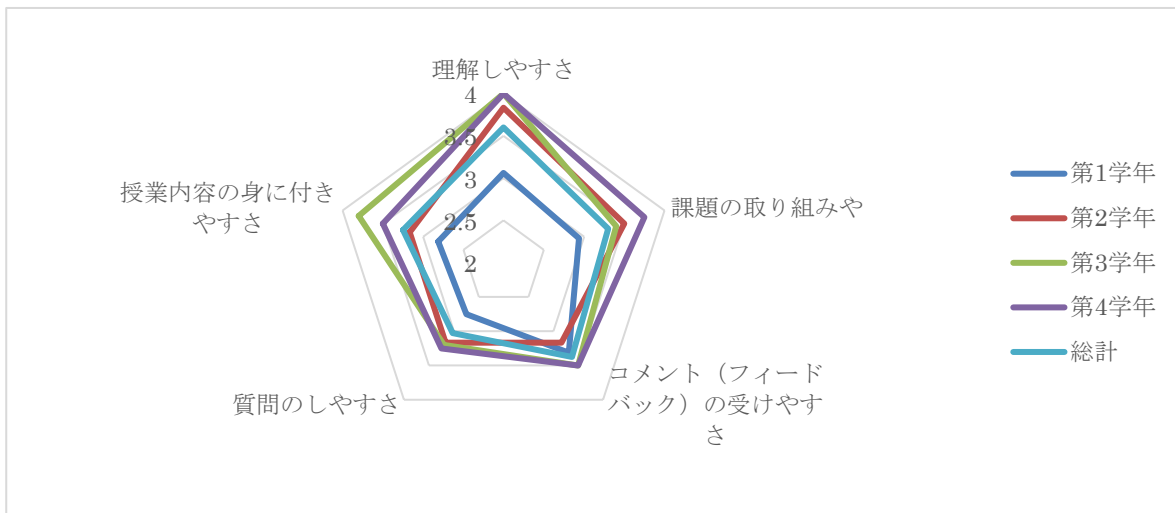
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計/全体
回答数	8	2	7	10	27
満足度平均	4.25	5.00	4.14	4.20	4.26

<項目別レーダーチャート>

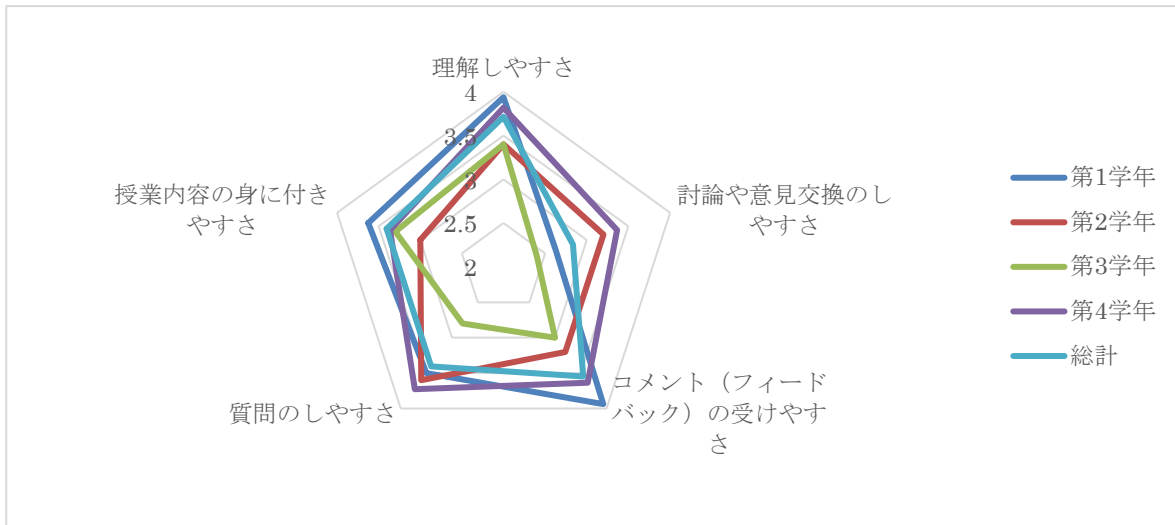
▼ 文書資料型



▼ 動画資料型



▼ ライブ型



▼ 対面型授業



■ 文学部仏教学科

n=21 (第1学年6、第2学年5、第3学年4、第4学年6)

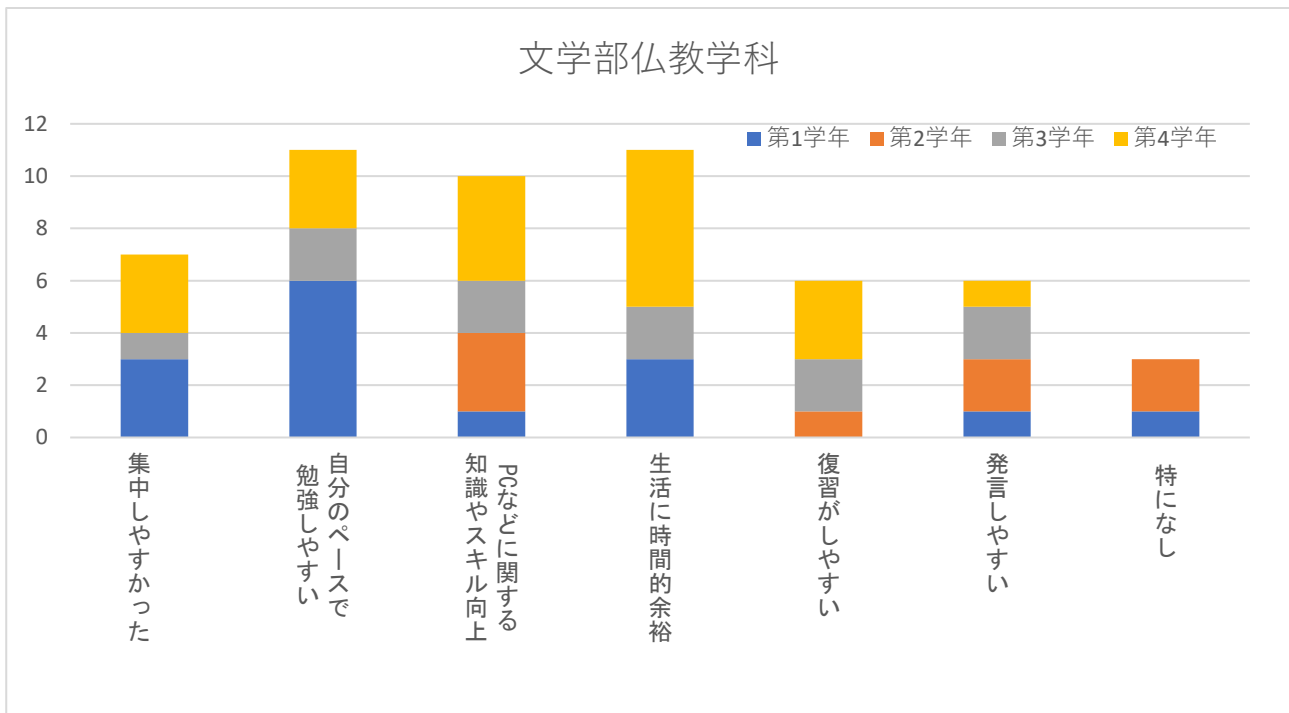
Q3. 学習環境

文学部仏教学科	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計
自分専用のPC	3	4	4	4	15
家族共用のPC	2	1			3
タブレット端末 (iPadなど)				2	2
スマートフォン	1				1
総計	6	5	4	6	21

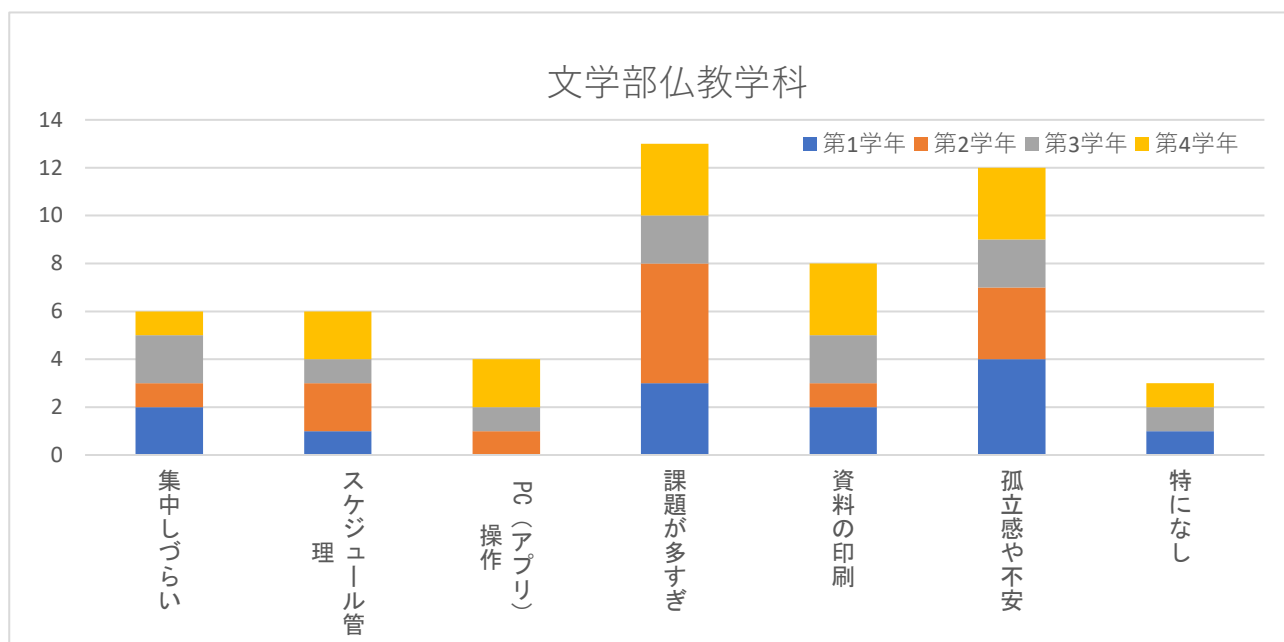
Q4. 通信環境

文学部仏教学科	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計
前期の開始時点からあった	5	4	3	5	17
前期の途中からあった		1	1		2
わからない	1			1	2
総計	6	5	4	6	21

Q5. メリット (複数回答可)



Q6. デメリット（複数回答可）



Q7. 全体的満足度

学科平均 **3.24** (標準偏差 0.92)

Q8～Q36. 授業スタイル別の満足度等

▼ 文書資料型

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	6	5	4	6	21
満足度平均	3.67	2.00	3.00	3.67	3.14

▼ 動画資料型

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	6	4	3	3	16
満足度平均	4.00	2.75	3.00	3.67	3.44

▼ ライブ型

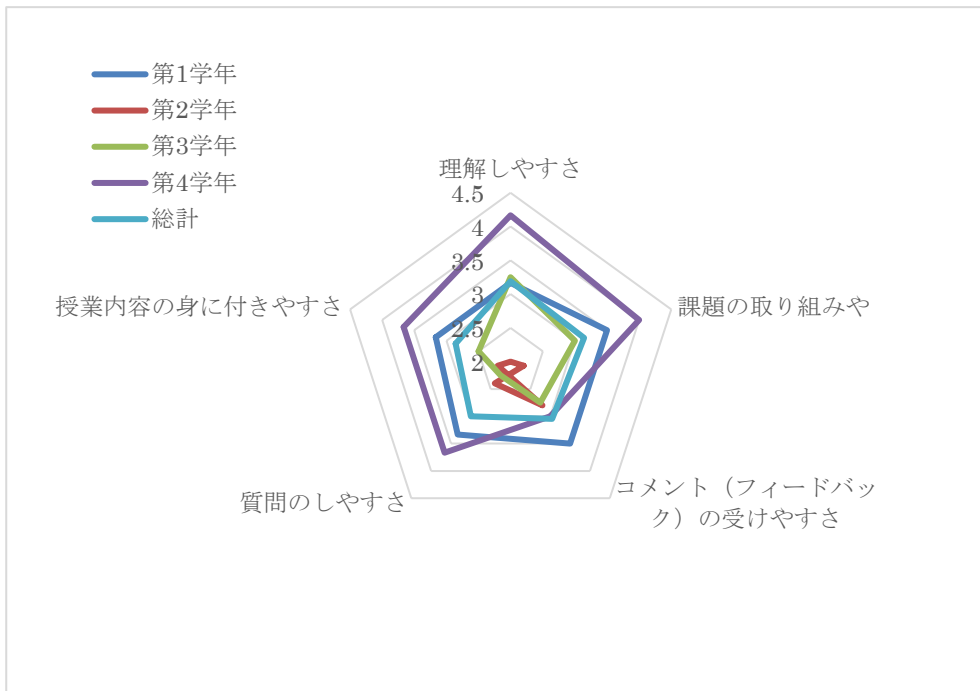
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	6	5	4	6	21
満足度平均	3.83	3.00	4.25	3.83	3.71

▼ 対面型授業

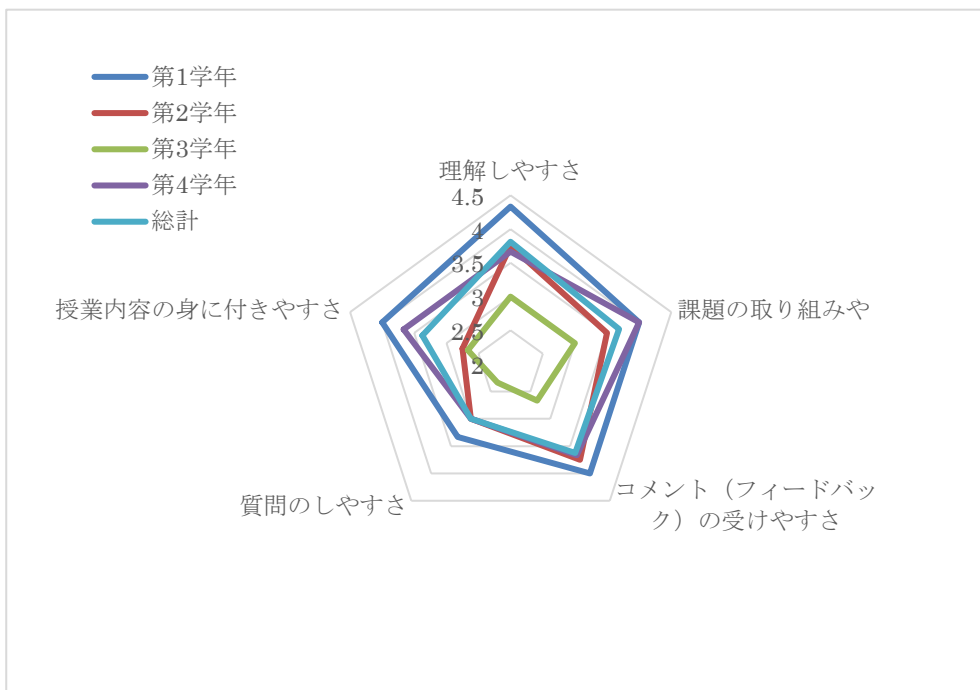
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	5	2	2	4	13
満足度平均	3.80	4.50	4.50	4.00	4.08

<項目別レーダーチャート>

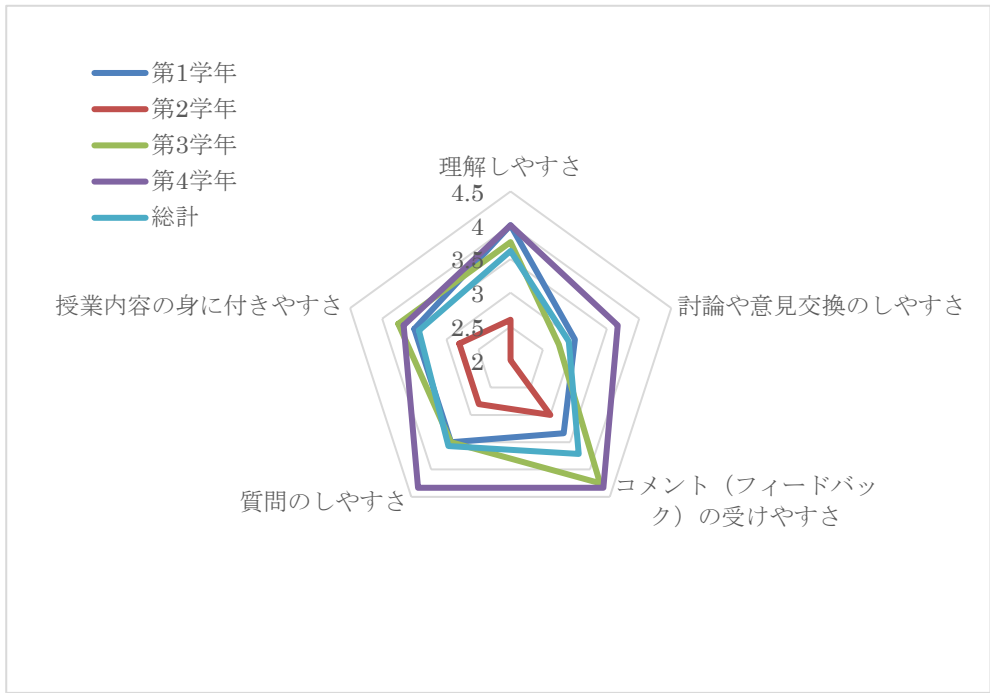
▼ 文書資料型



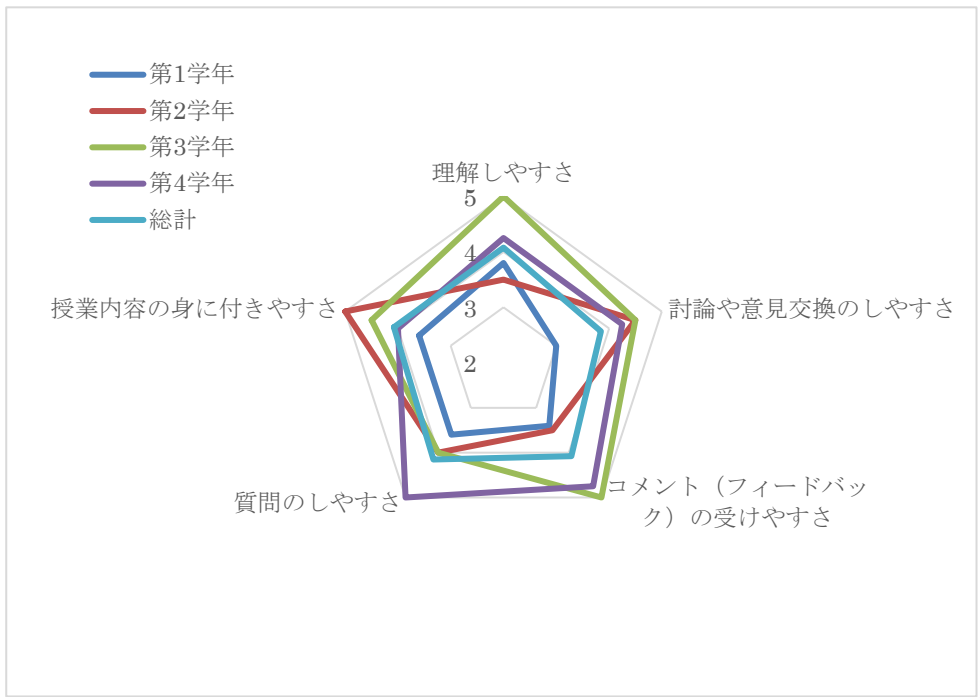
▼ 動画資料型



▼ ライブ型



▼ 対面型授業



■ 文学部哲学科

n=52 (第1学年 18、第2学年 16、第3学年 15、第4学年 3)

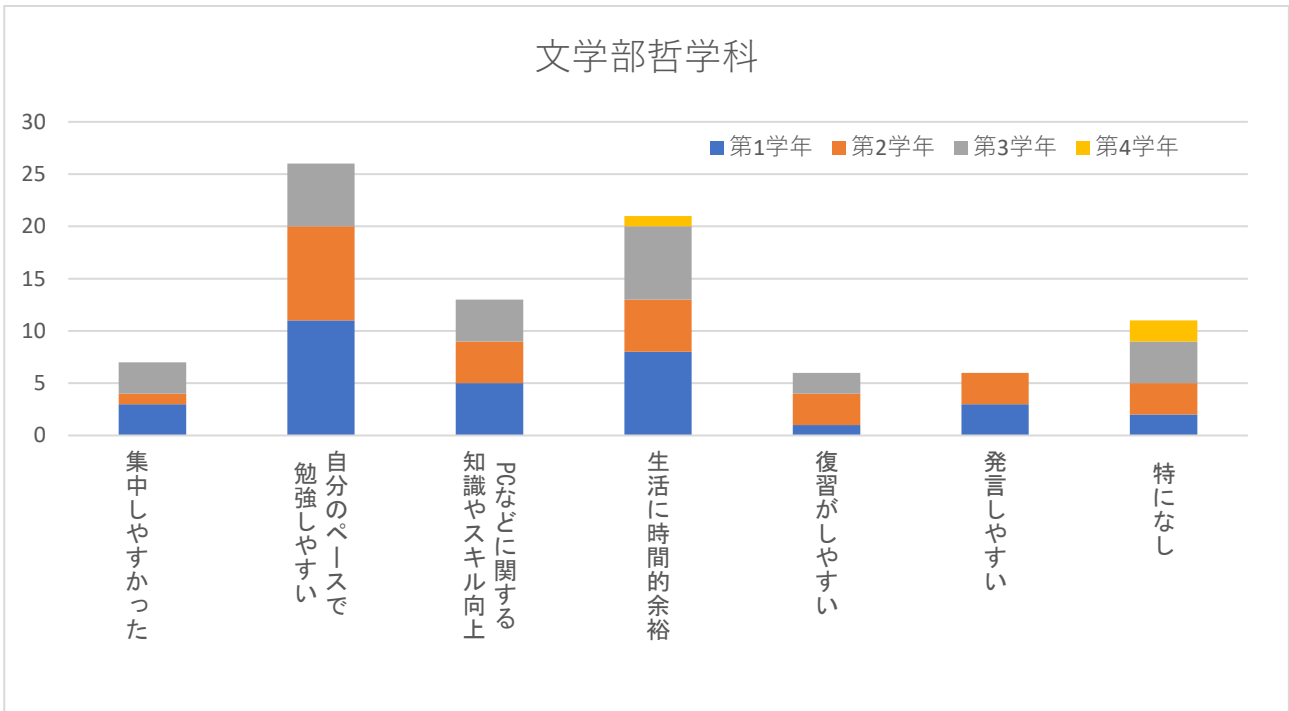
Q3. 学習環境

文学部哲学科	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計
自分専用のPC	14	14	14	3	45
家族共用のPC	2		1		3
タブレット端末 (iPadなど)		2			2
スマートフォン	2				2
総計	18	16	15	3	52

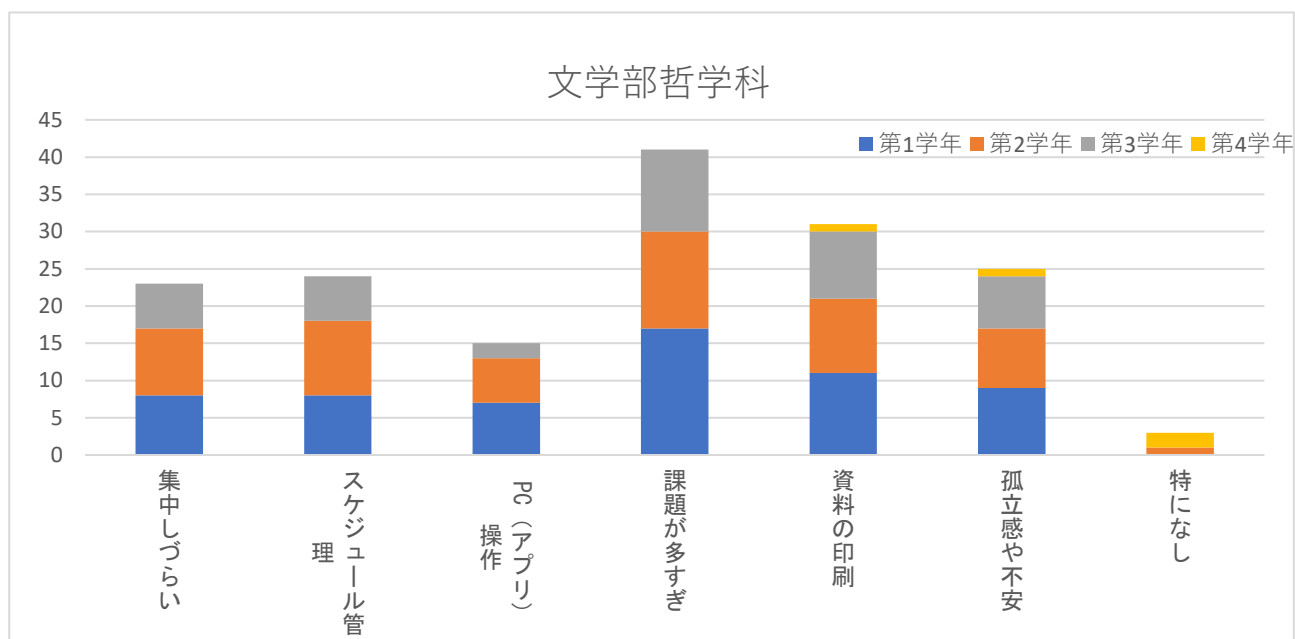
Q4. 通信環境

文学部哲学科	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計
前期の開始時点からあった	16	14	14	3	47
前期の途中からあった	1	1	1		3
なかった (テザリングでPCのネット 接続を含む)	1	1			2
総計	18	16	15	3	52

Q5. メリット (複数回答可)



Q6. デメリット（複数回答可）



Q7. 全体的満足度

学科平均 **2.46** (標準偏差 1.12)

Q8～Q36. 授業スタイル別の満足度等

▼ 文書資料型

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	18	16	15	1	50
満足度平均	2.83	2.31	2.47	3.00	2.56

▼ 動画資料型

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	18	14	14	0	46
満足度平均	2.78	2.79	2.07	—	2.57

▼ ライブ型

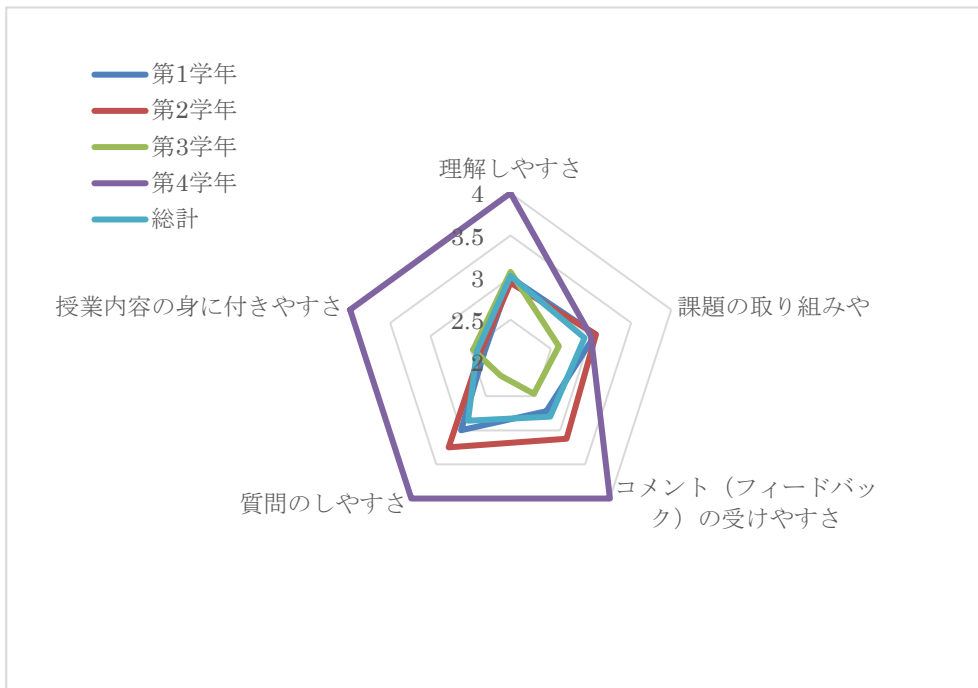
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	16	16	14	3	49
満足度平均	3.56	3.19	2.36	3.00	3.06

▼ 対面型授業

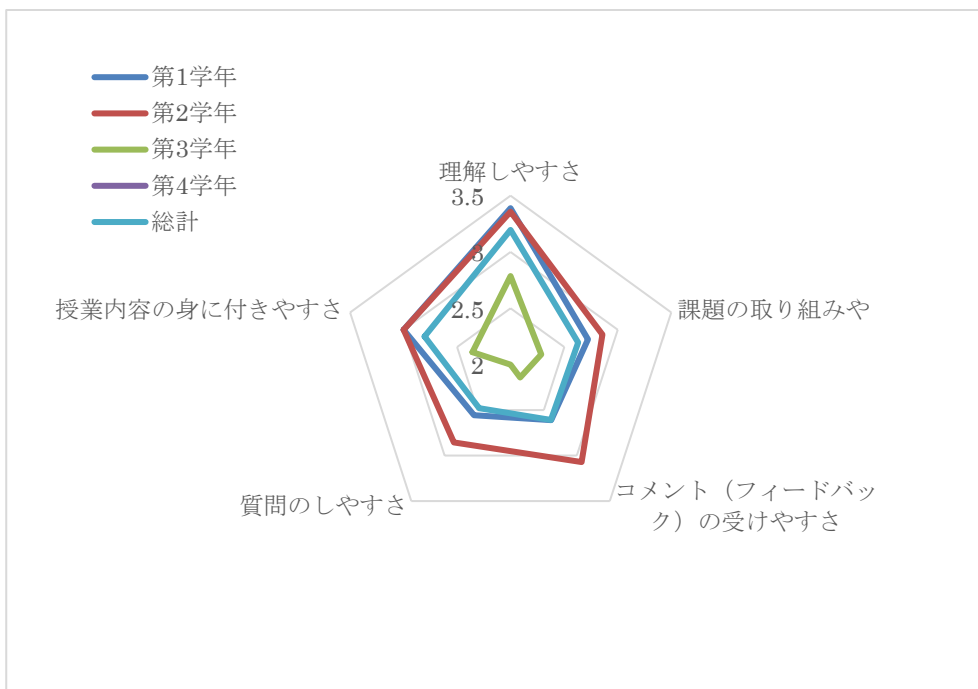
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	13	8	10	2	33
満足度平均	3.92	4.00	3.50	3.50	3.79

<項目別レーダーチャート>

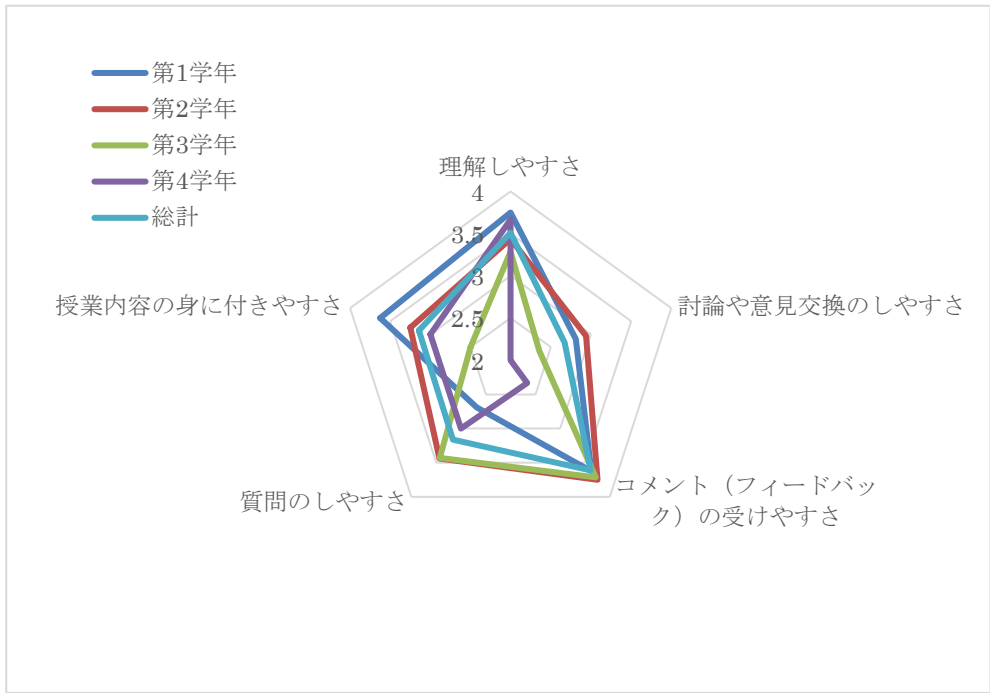
▼ 文書資料型



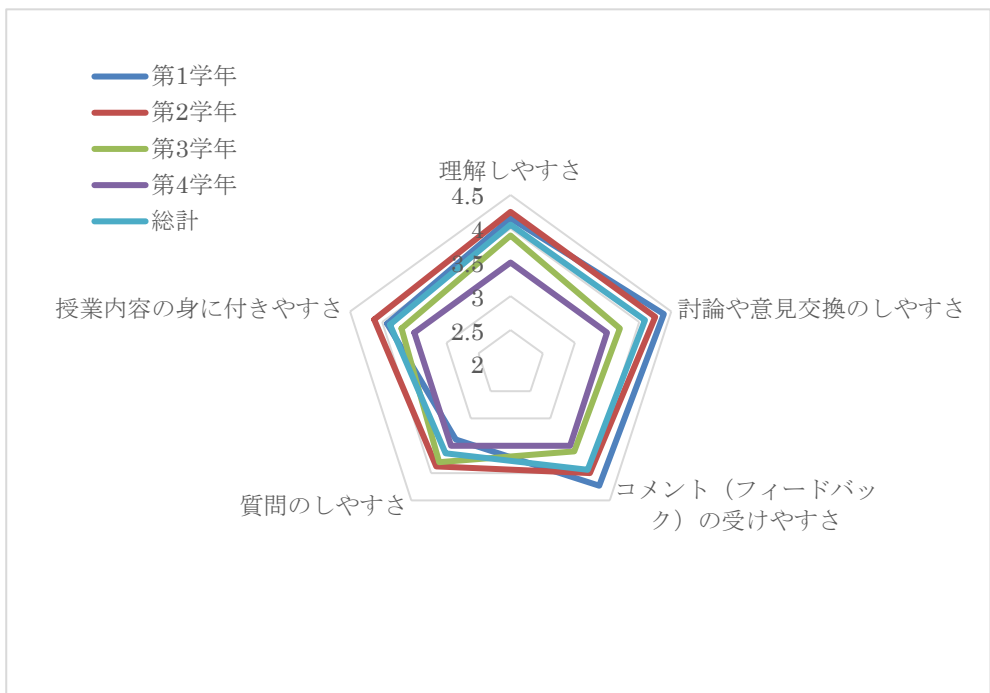
▼ 動画資料型



▼ ライブ型



▼ 対面型授業



■ 文学部歴史学科

n=132 (第1学年 68、第2学年 32、第3学年 24、第4学年 8)

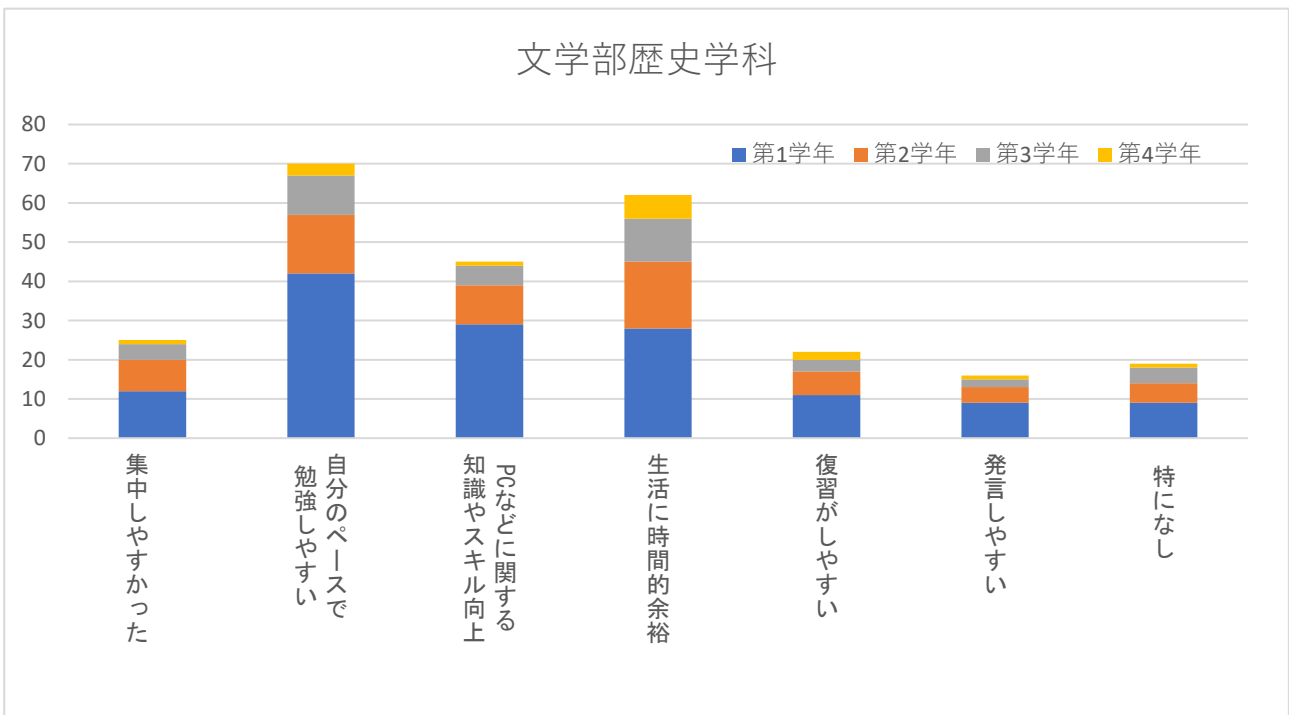
Q3. 学習環境

文学部歴史学科	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計
自分専用のPC	49	21	13	4	87
家族共用のPC	9	2	6	2	19
タブレット端末 (iPadなど)	1	3	1		5
スマートフォン	9	6	4	2	21
総計	68	32	24	8	132

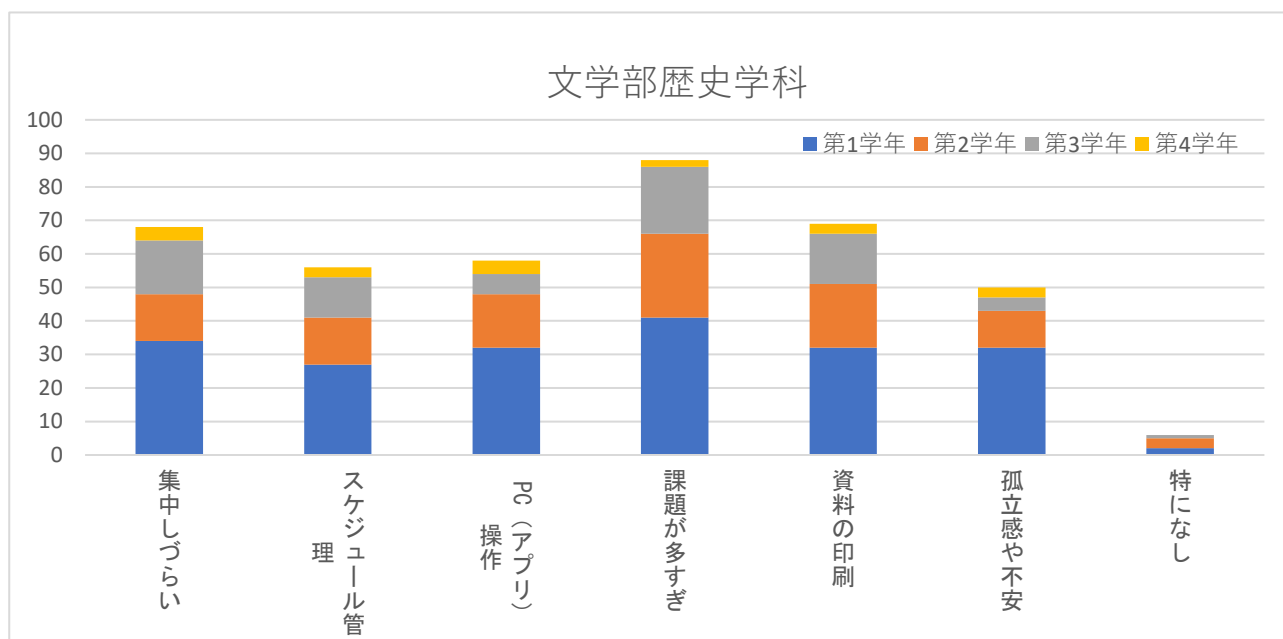
Q4. 通信環境

文学部歴史学科	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計
前期の開始時点からあった	55	27	20	6	108
前期の途中からあった	10	4	1	2	17
わからない	1				1
なかった (テザリングでPCのネット 接続を含む)	2	1	3		6
総計	68	32	24	8	132

Q5. メリット (複数回答可)



Q6. デメリット（複数回答可）



Q7. 全体的満足度

学科平均 **2.73** (標準偏差 1.07)

Q8～Q36. 授業スタイル別の満足度等

▼ 文書資料型

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	68	32	24	8	132
満足度平均	2.87	2.66	2.46	2.88	2.74

▼ 動画資料型

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	67	29	24	6	126
満足度平均	3.27	3.24	3.00	2.67	3.18

▼ ライブ型

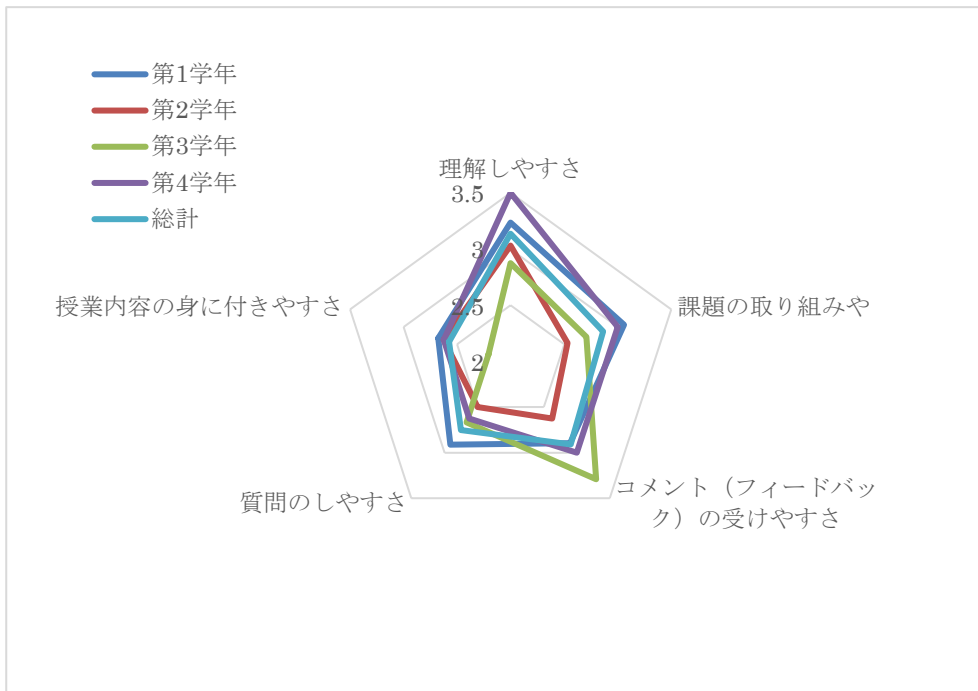
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	63	31	23	7	124
満足度平均	3.38	3.16	3.35	3.43	3.32

▼ 対面型授業

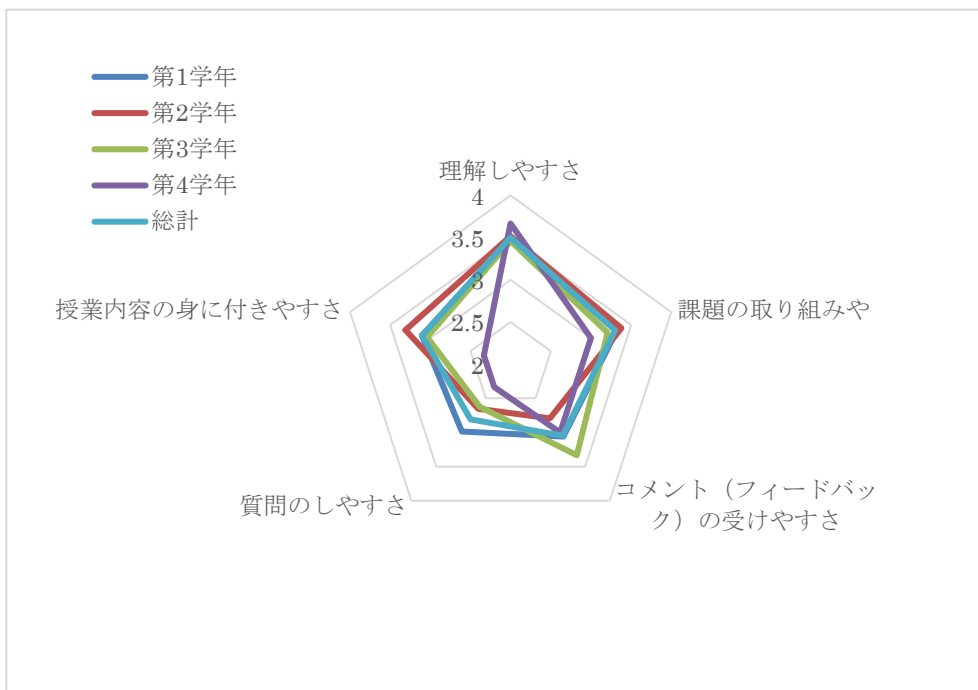
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	51	18	17	4	90
満足度平均	3.86	3.89	3.65	4.25	3.84

<項目別レーダーチャート>

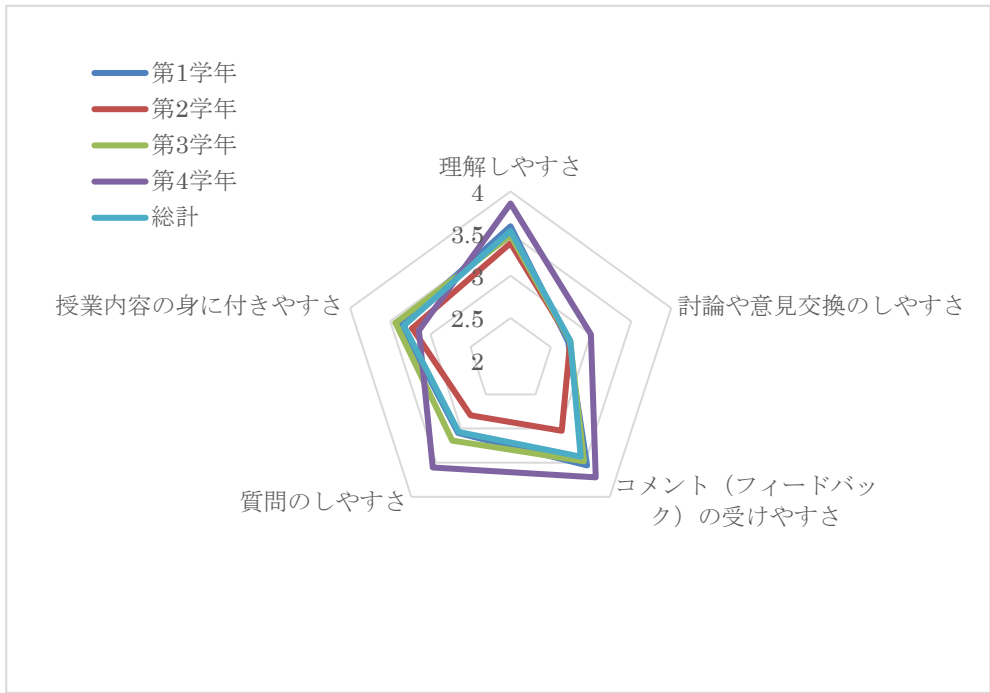
▼ 文書資料型



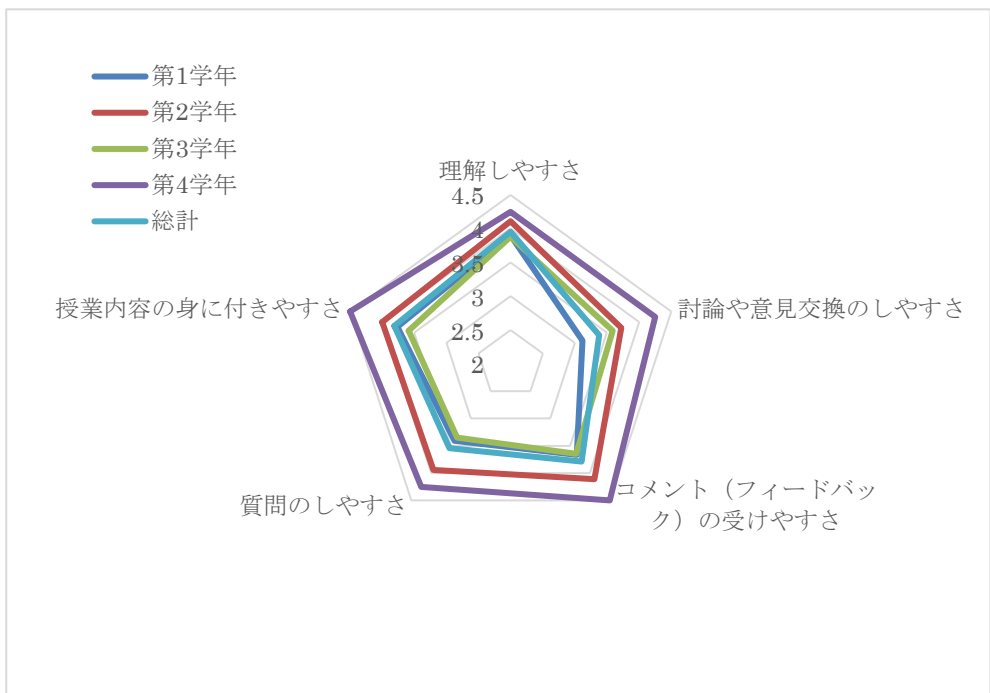
▼ 動画資料型



▼ ライブ型



▼ 対面型授業



■ 文学部文学科

n=65 (第1学年 23、第2学年 19、第3学年 15、第4学年 8)

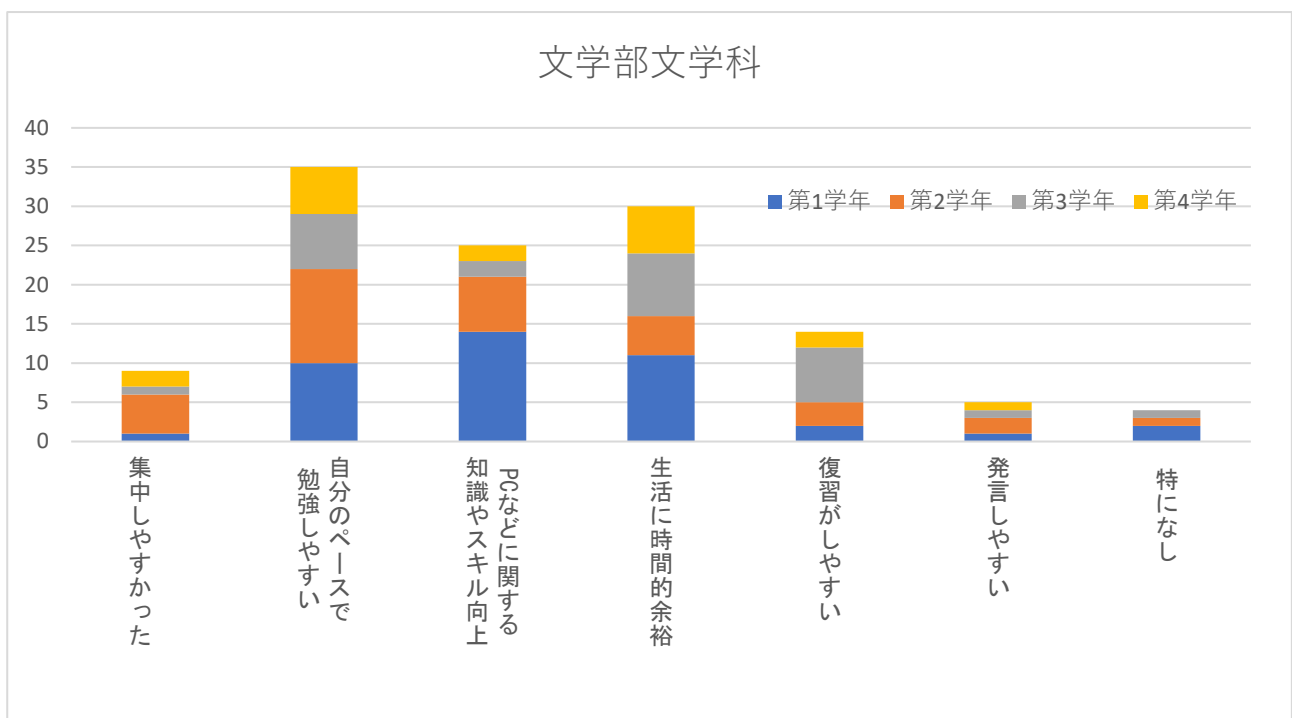
Q3. 学習環境

文学部文学科	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計
自分専用のPC	18	14	10	6	48
家族共用のPC		3	4	1	8
タブレット端末 (iPadなど)	1	1			2
スマートフォン	3	1	1	1	6
その他の機器	1				1
総計	23	19	15	8	65

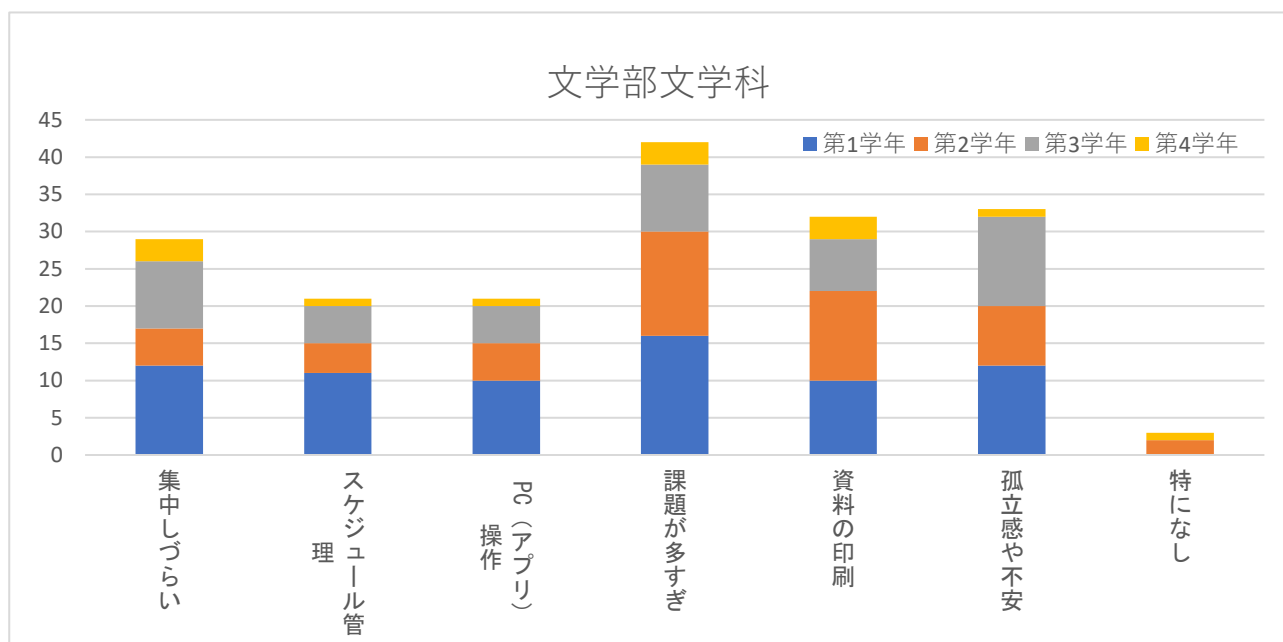
Q4. 通信環境

文学部文学科	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計
わからない	3				3
前期の開始時点からあった	16	16	12	7	51
前期の途中からあった	3	2	1	1	7
わからない	3				3
なかった (テザリングでPCのネット 接続を含む)	1	1	2		4
総計	23	19	15	8	65

Q5. メリット (複数回答可)



Q6. デメリット（複数回答可）



Q7. 全体的満足度

学科平均 **2.63** (標準偏差 0.89)

Q8～Q36. 授業スタイル別の満足度等

▼ 文書資料型

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	23	19	15	8	65
満足度平均	2.74	2.89	2.73	2.13	2.71

▼ 動画資料型

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	21	19	14	4	58
満足度平均	3.24	3.16	3.21	3.75	3.24

▼ ライブ型

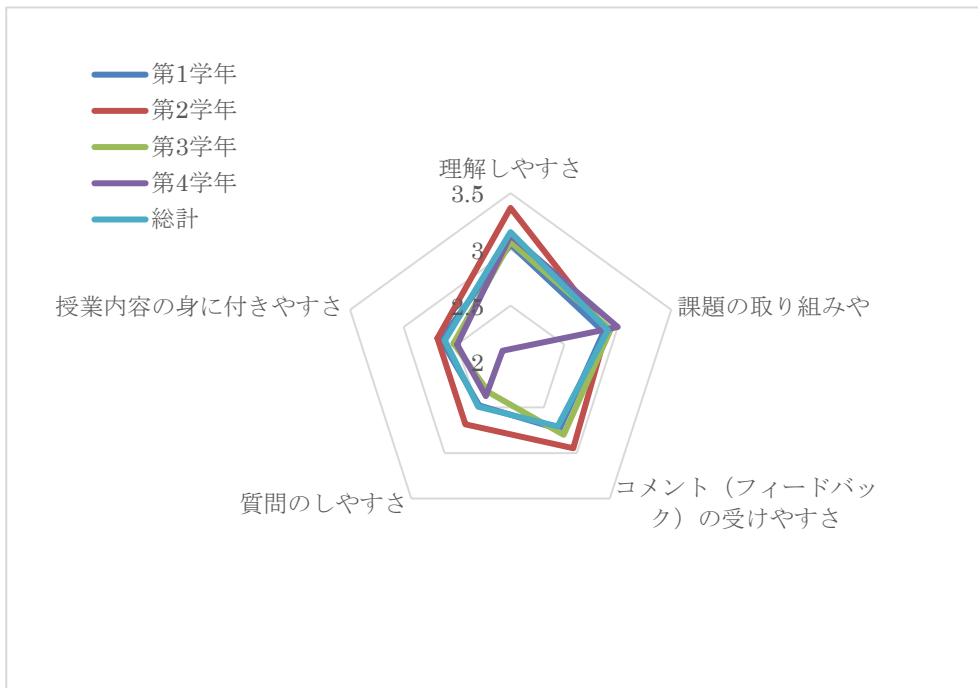
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	23	16	7	6	52
満足度平均	3.30	3.06	2.57	2.83	3.08

▼ 対面型授業

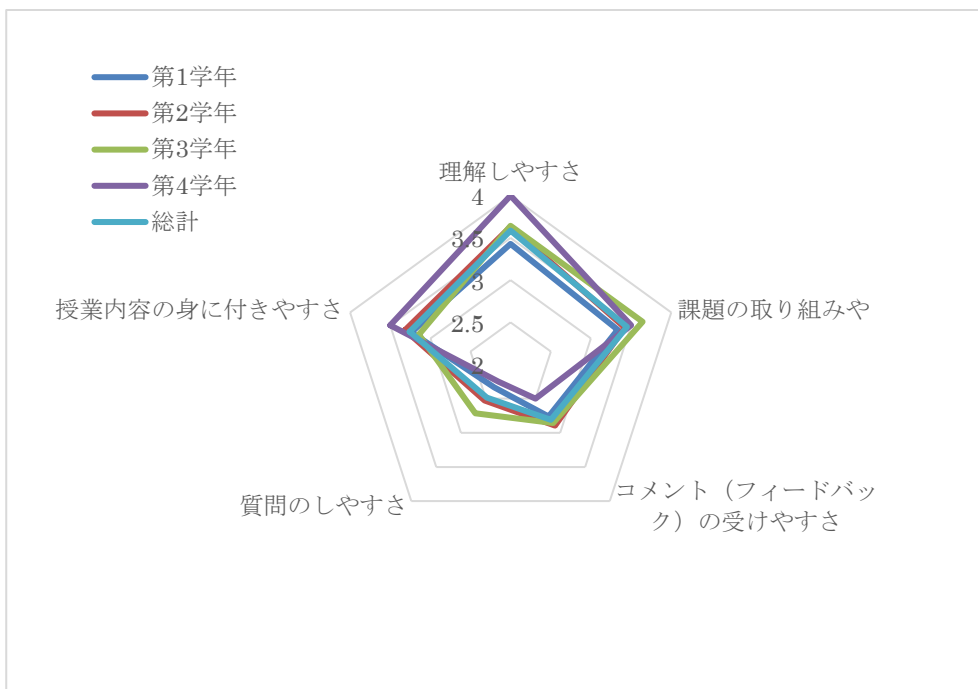
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	16	6	8	4	34
満足度平均	3.88	3.83	3.88	4.00	3.88

<項目別レーダーチャート>

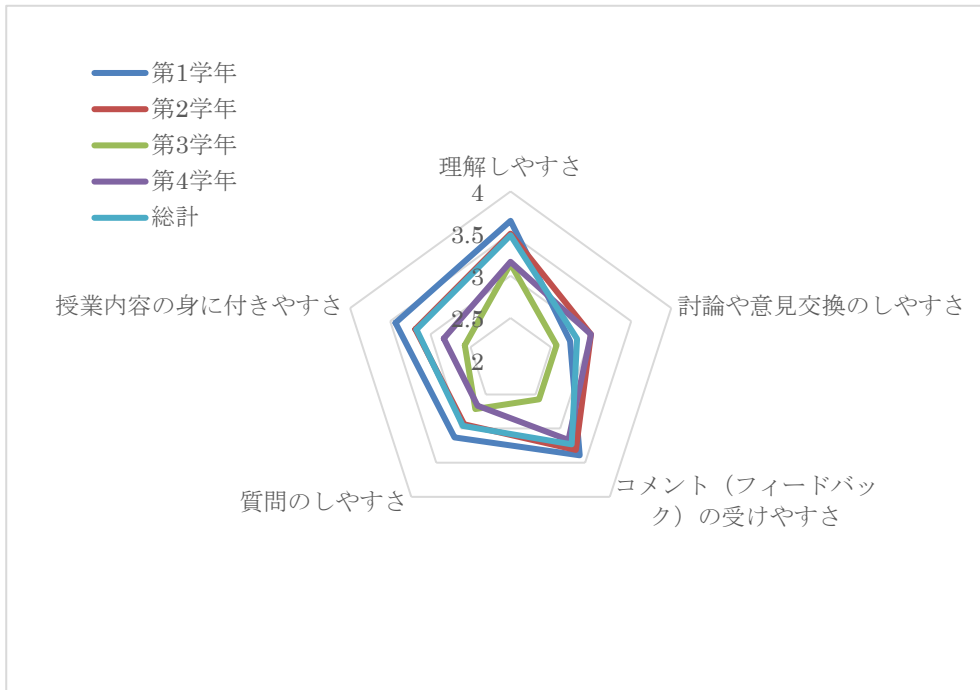
▼ 文書資料型



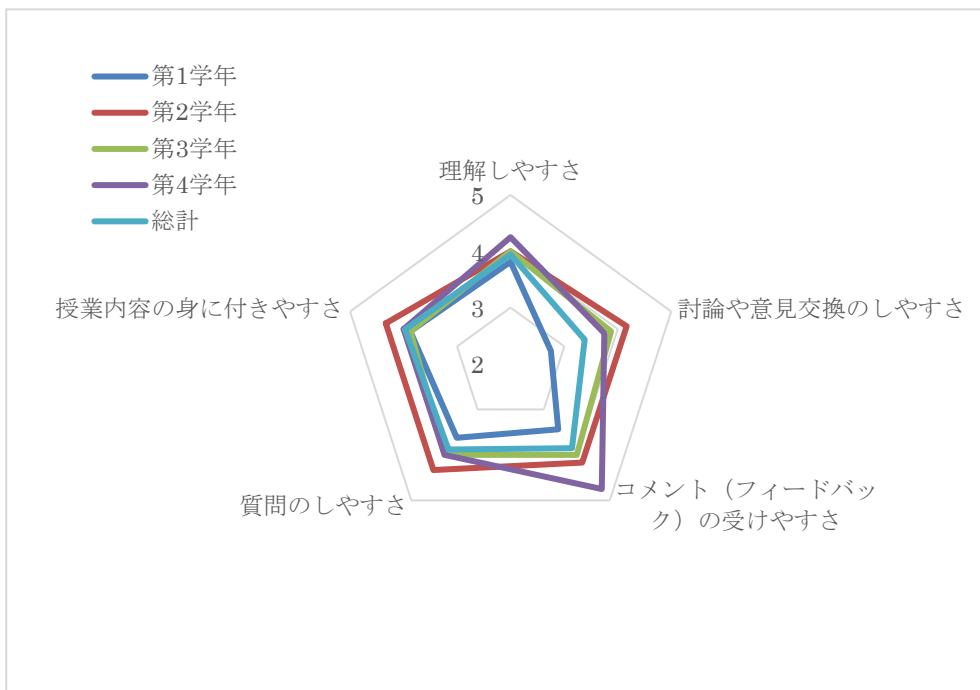
▼ 動画資料型



▼ ライブ型



▼ 対面型授業



■ 文学部国際文化学科

n=79 (第1学年 31、第2学年 23、第3学年 16、第4学年 9)

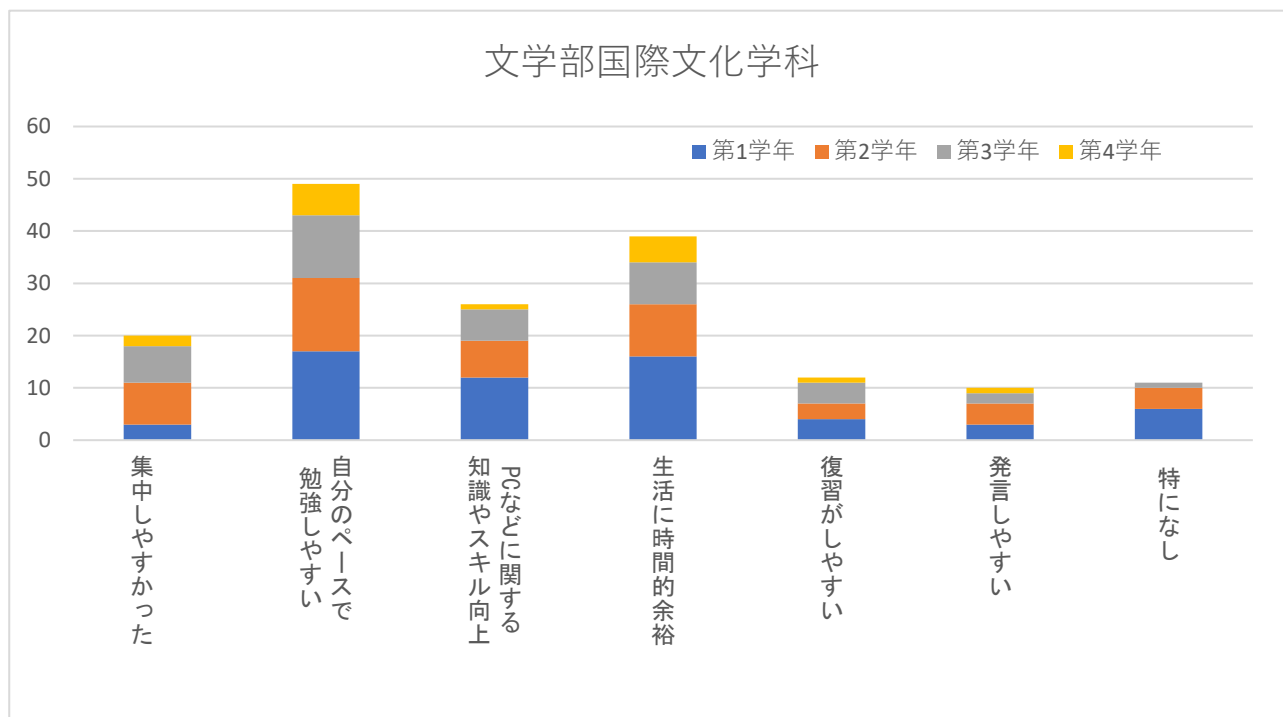
Q3. 学習環境

文学部国際文化学科	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計
自分専用のPC	19	19	12	5	55
家族共用のPC	6	3	1	1	11
タブレット端末 (iPadなど)	1		1	1	3
スマートフォン	5	1	2	2	10
総計	31	23	16	9	79

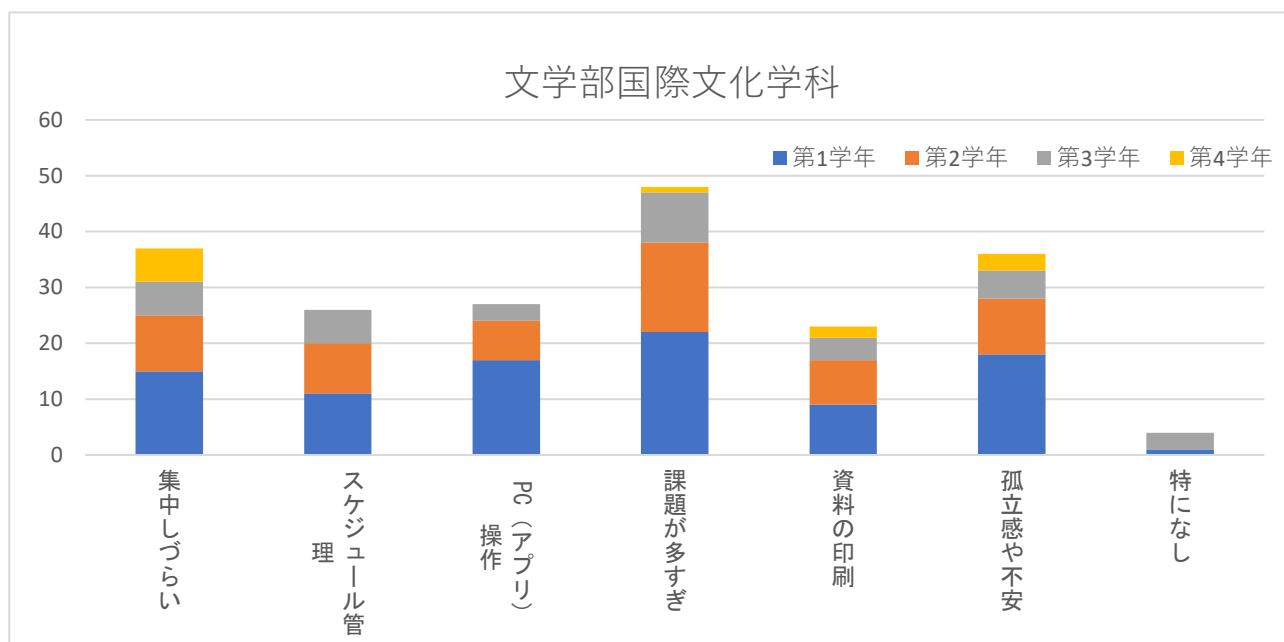
Q4. 通信環境

文学部国際文化学科	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計
前期の開始時点からあった	25	17	12	9	63
前期の途中からあった	2	3			5
わからない	2	2	2		6
なかった (テザリングでPCのネット接続を含む)	2	1	2		5
総計	31	23	16	9	79

Q5. メリット (複数回答可)



Q6. デメリット（複数回答可）



Q7. 全体的満足度

学科平均 **3.00** (標準偏差 0.93)

Q8～Q36. 授業スタイル別の満足度等

▼ 文書資料型

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	31	23	16	9	79
満足度平均	2.90	2.57	3.25	3.56	2.95

▼ 動画資料型

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	29	21	14	5	69
満足度平均	3.24	2.86	3.93	3.80	3.30

▼ ライブ型

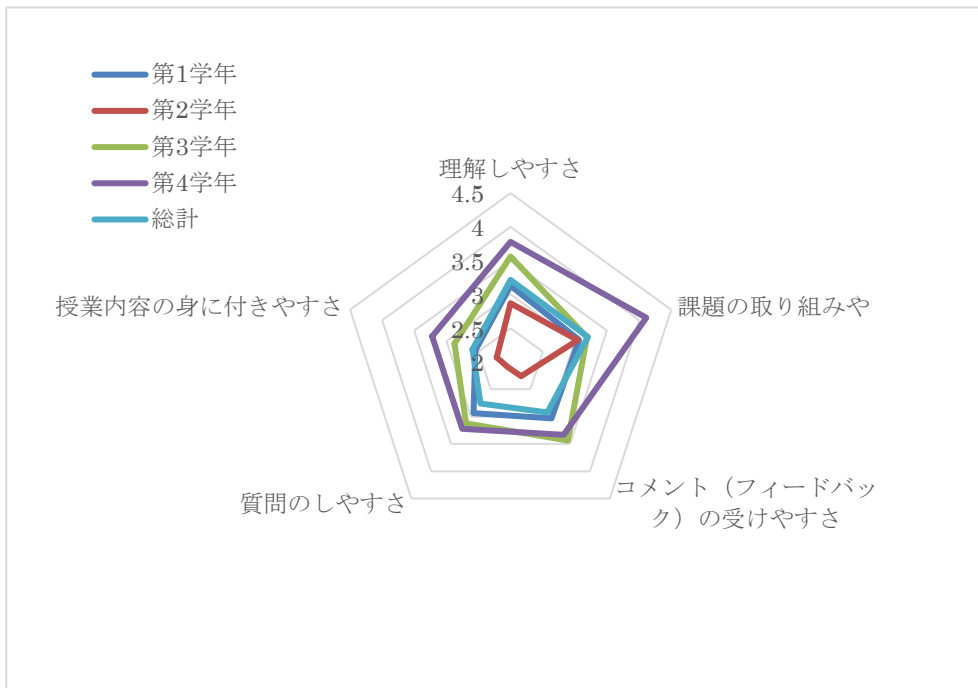
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	30	20	16	8	74
満足度平均	3.30	3.20	3.19	3.88	3.31

▼ 対面型授業

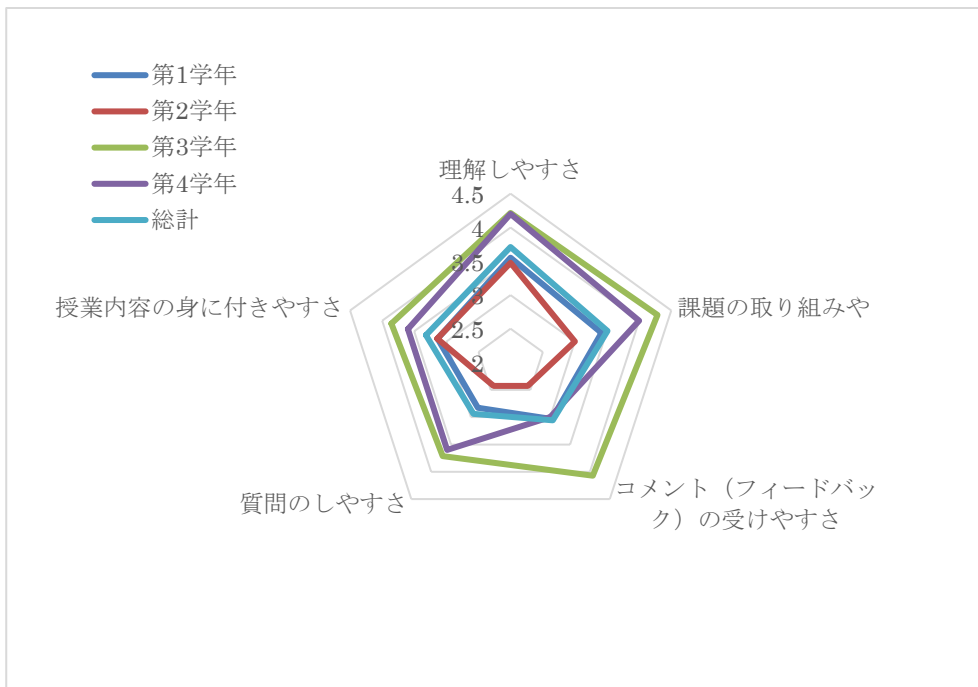
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	30	17	7	5	59
満足度平均	4.00	3.88	4.00	4.00	3.97

<項目別レーダーチャート>

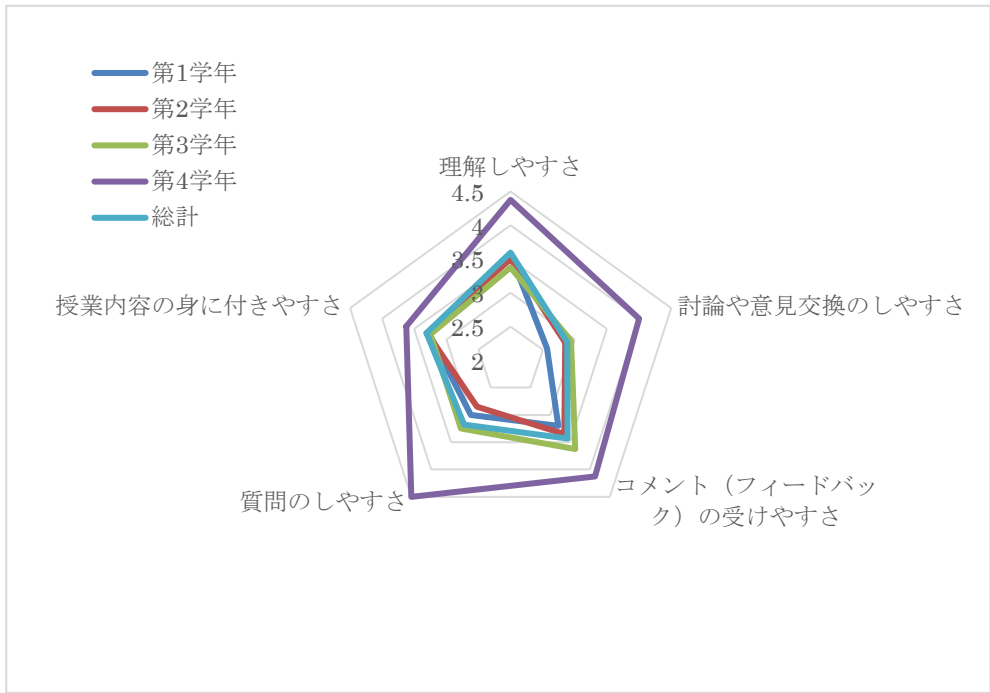
▼ 文書資料型



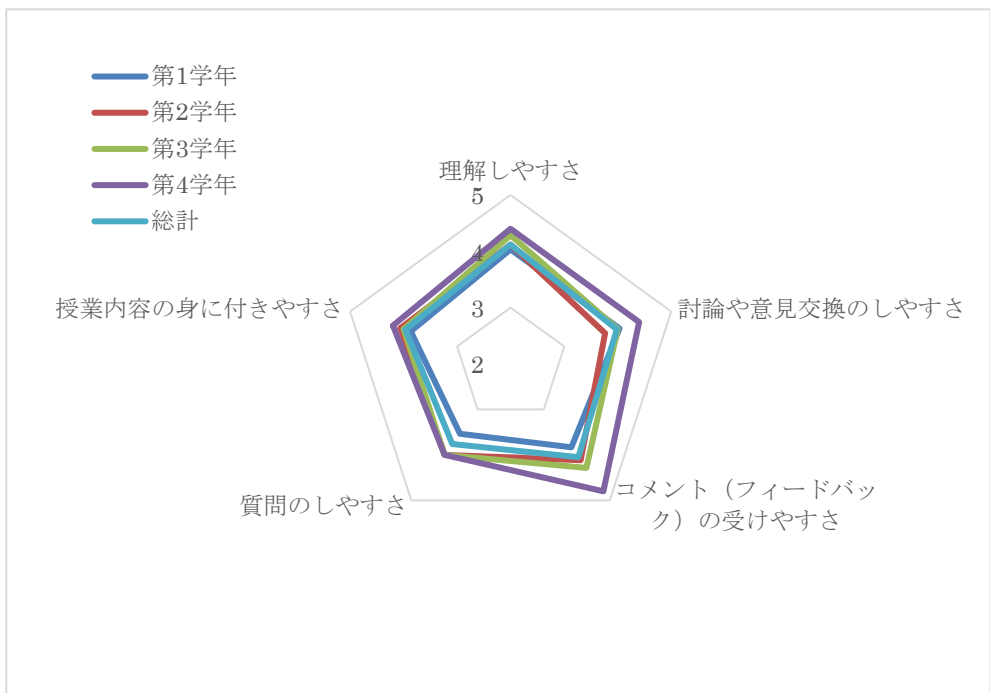
▼ 動画資料型



▼ ライブ型



▼ 対面型授業



■ 社会学部現代社会学科

n=90 (第1学年 38、第2学年 34、第3学年 18)

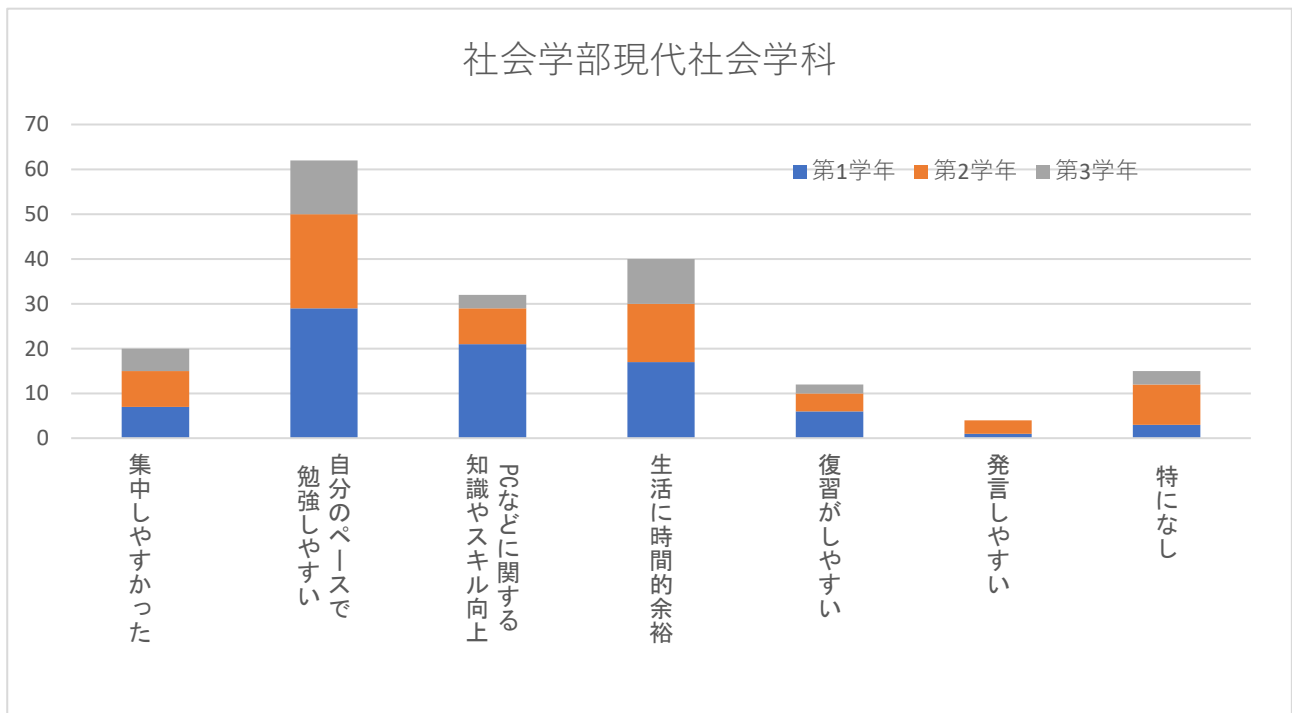
Q3. 学習環境

社会学部現代社会学科	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計
自分専用のPC	24	18	10		52
家族共用のPC	11	8	3		22
スマートフォン	3	8	5		16
総計	38	34	18		90

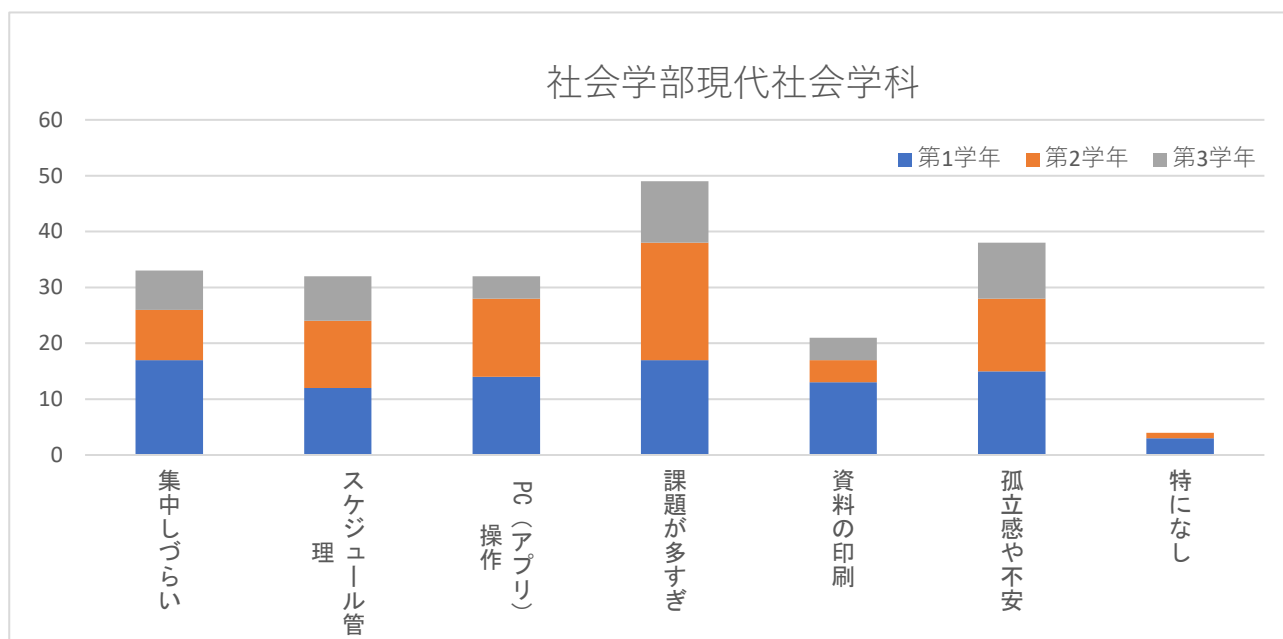
Q4. 通信環境

社会学部現代社会学科	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計
前期の開始時点からあった	30	26	14		70
前期の途中からあった	5	3	1		9
わからない	3	4	2		9
なかった (テザリングでPCのネット接続を含む)		1	1		2
総計	38	34	18		90

Q5. メリット (複数回答可)



Q6. デメリット（複数回答可）



Q7. 全体的満足度

学科平均 **3.02** (標準偏差 1.01)

Q8～Q36. 授業スタイル別の満足度等

▼ 文書資料型

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	38	34	18	—	90
満足度平均	3.32	2.82	2.78	—	3.02

▼ 動画資料型

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	38	32	17	—	87
満足度平均	3.39	2.97	3.18	—	3.20

▼ ライブ型

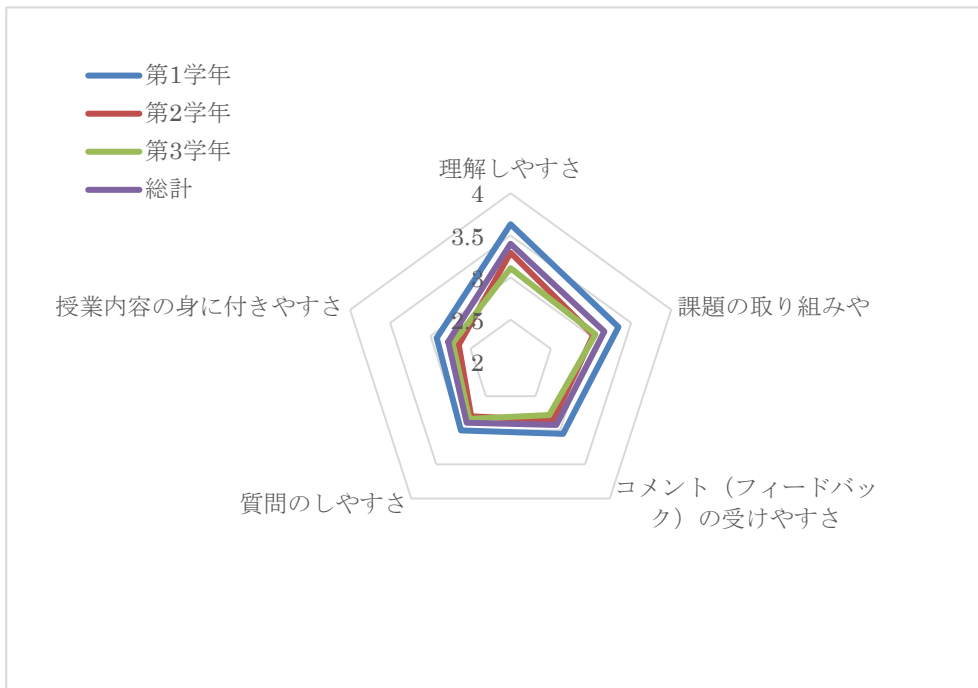
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	37	23	11	—	71
満足度平均	3.49	3.30	2.73	—	3.31

▼ 対面型授業

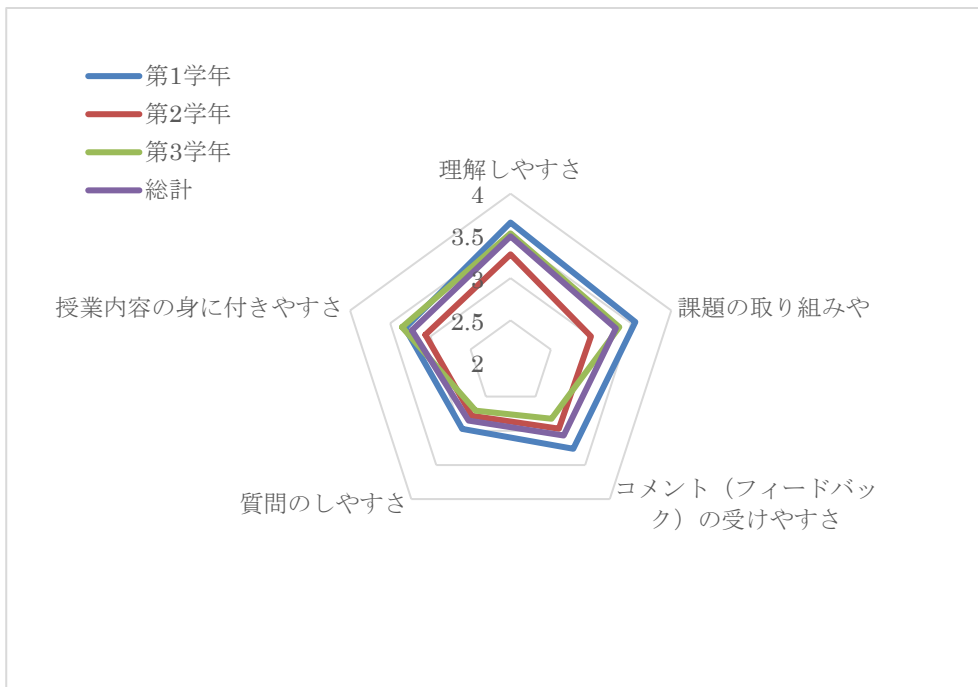
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	36	15	3	—	54
満足度平均	3.86	3.33	3.33	—	3.69

<項目別レーダーチャート>

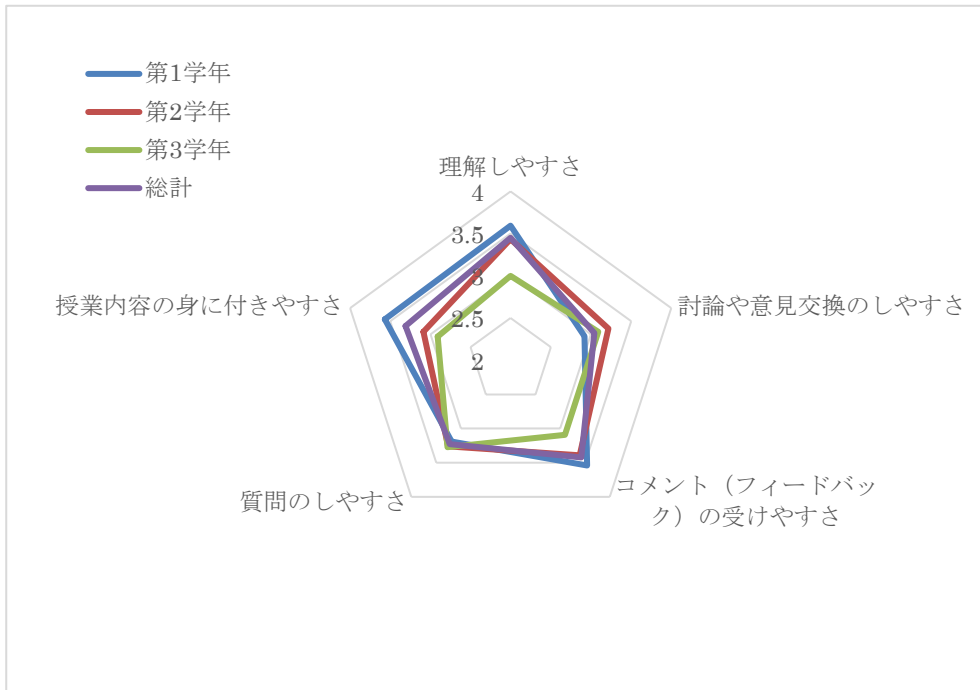
▼ 文書資料型



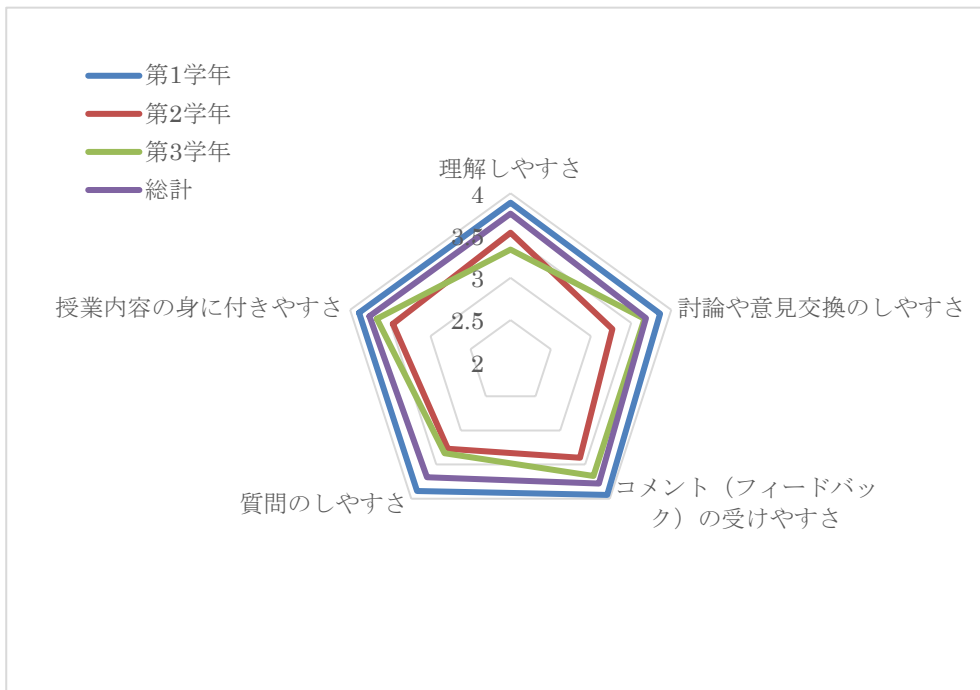
▼ 動画資料型



▼ ライブ型



▼ 対面型授業



■ 社会学部コミュニティデザイン学科

n=63 (第1学年 32、第2学年 19、第3学年 12)

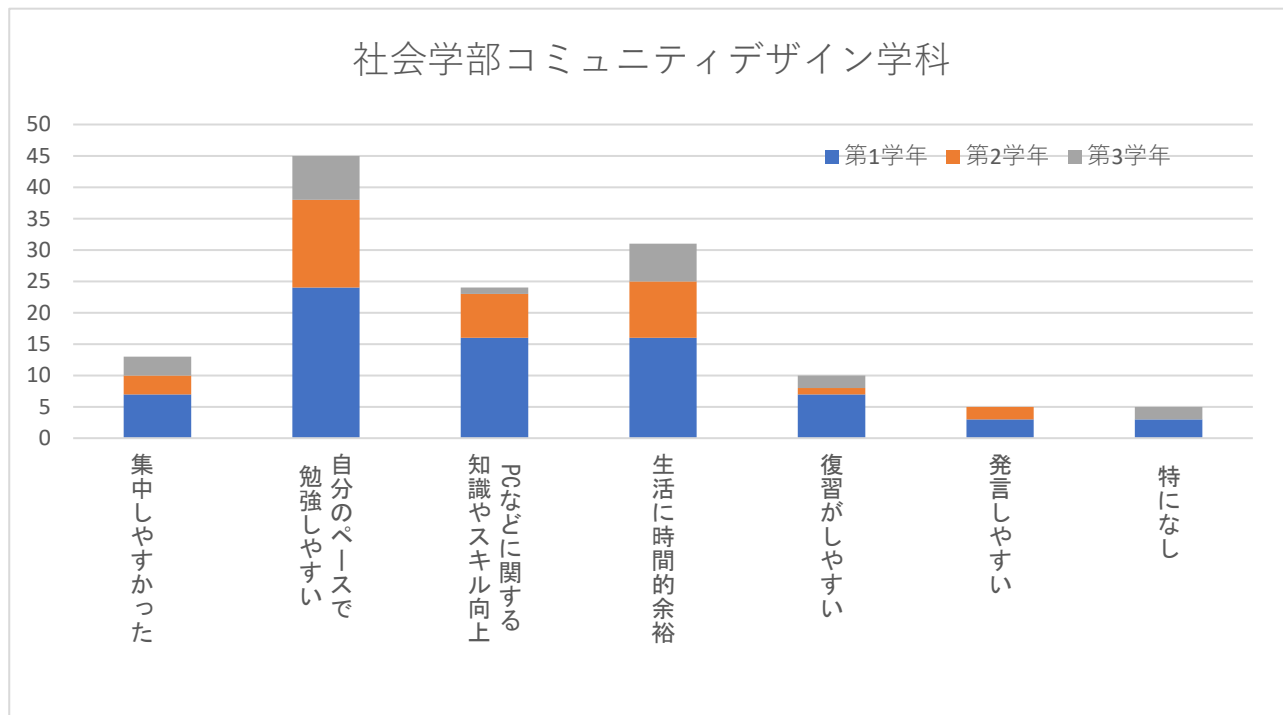
Q3. 学習環境

社会学部コミュニティデザイン学科	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計
自分専用のPC	26	9	8		43
家族共用のPC	5	2	2		9
スマートフォン	1	8	2		11
総計	32	19	12		63

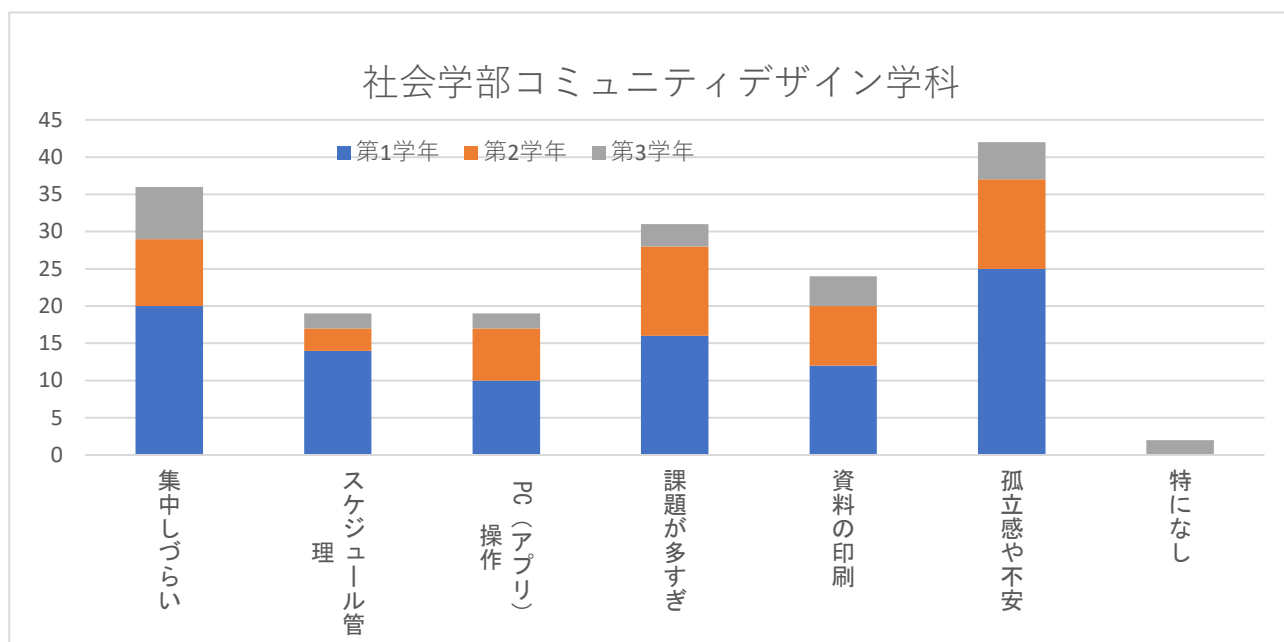
Q4. 通信環境

社会学部コミュニティデザイン学科	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計
前期の開始時点からあった	26	17	12		55
前期の途中からあった	4	1			5
わからない		1			1
なかった (テザリングでPCのネット接続を含む)	2				2
総計	32	19	12		63

Q5. メリット (複数回答可)



Q6. デメリット（複数回答可）



Q7. 全体的満足度

学科平均 **2.75** (標準偏差 0.80)

Q8～Q36. 授業スタイル別の満足度等

▼ 文書資料型

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	32	19	12	—	63
満足度平均	2.69	2.89	2.67	—	2.75

▼ 動画資料型

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	32	18	9	—	59
満足度平均	3.25	3.22	3.56	—	3.29

▼ ライブ型

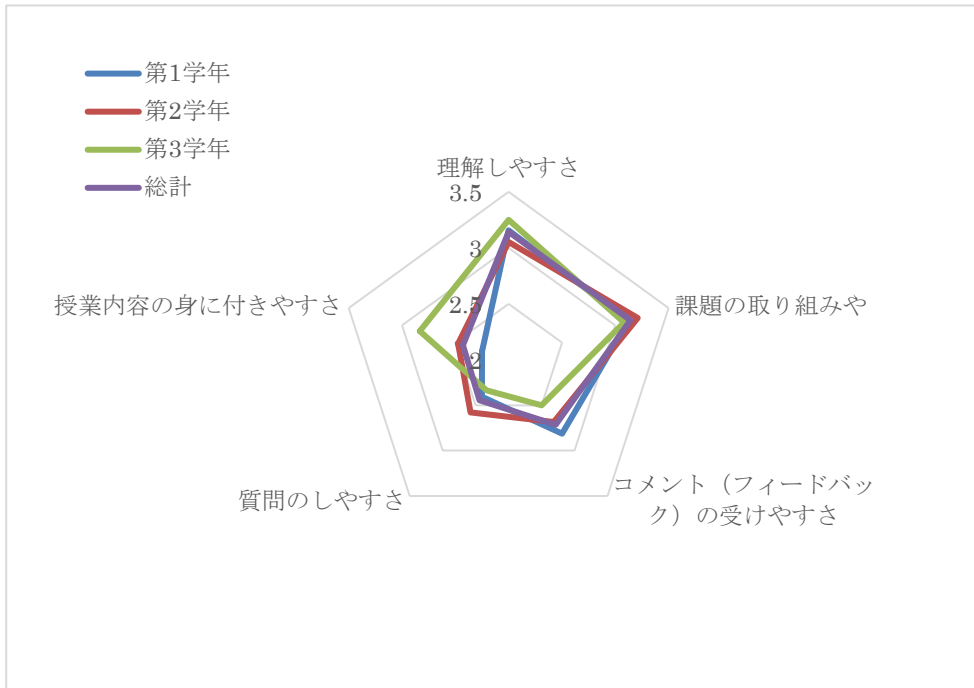
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	28	16	12	—	56
満足度平均	2.96	3.13	3.92	—	3.21

▼ 対面型授業

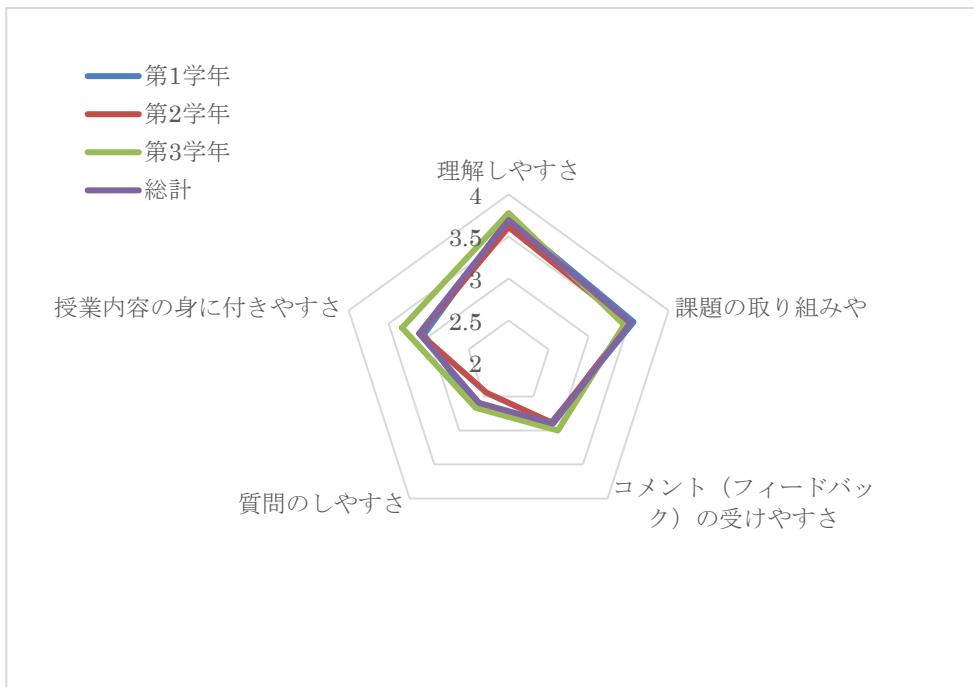
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	31	12	10	—	53
満足度平均	4.13	3.58	4.10	—	4.00

<項目別レーダーチャート>

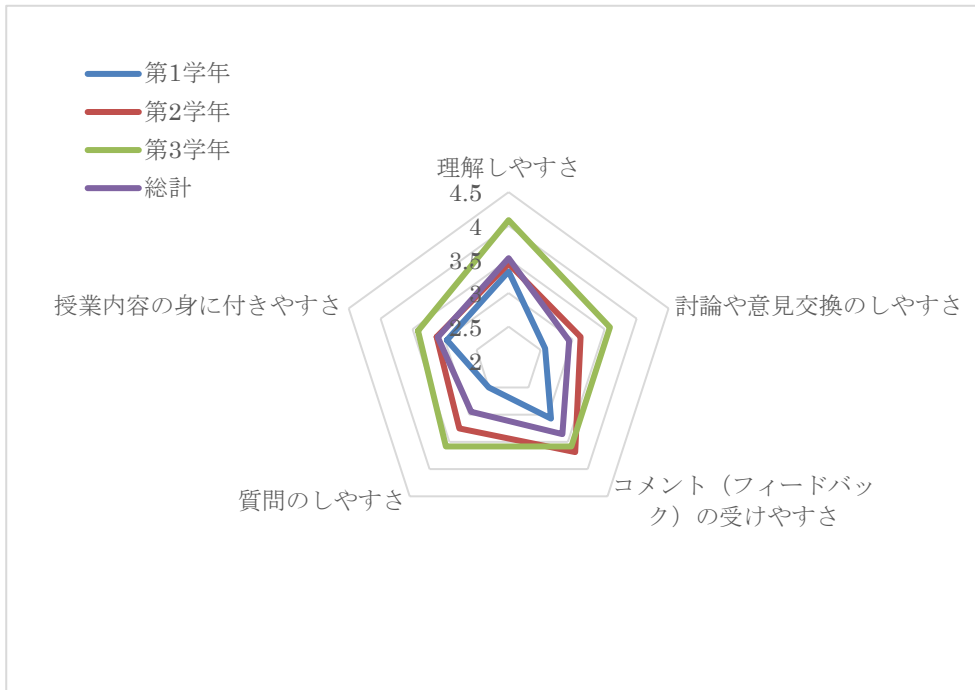
▼ 文書資料型



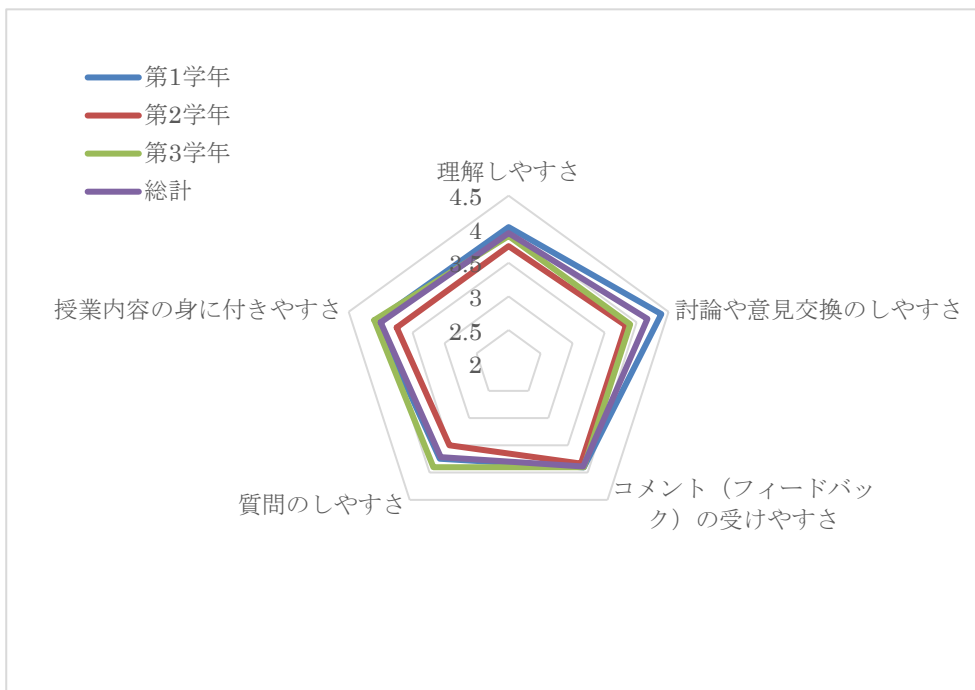
▼ 動画資料型



▼ ライブ型



▼ 対面型授業



■ 教育学部教育学科初等教育コース

n=47 (第1学年 18、第2学年 16、第3学年 13)

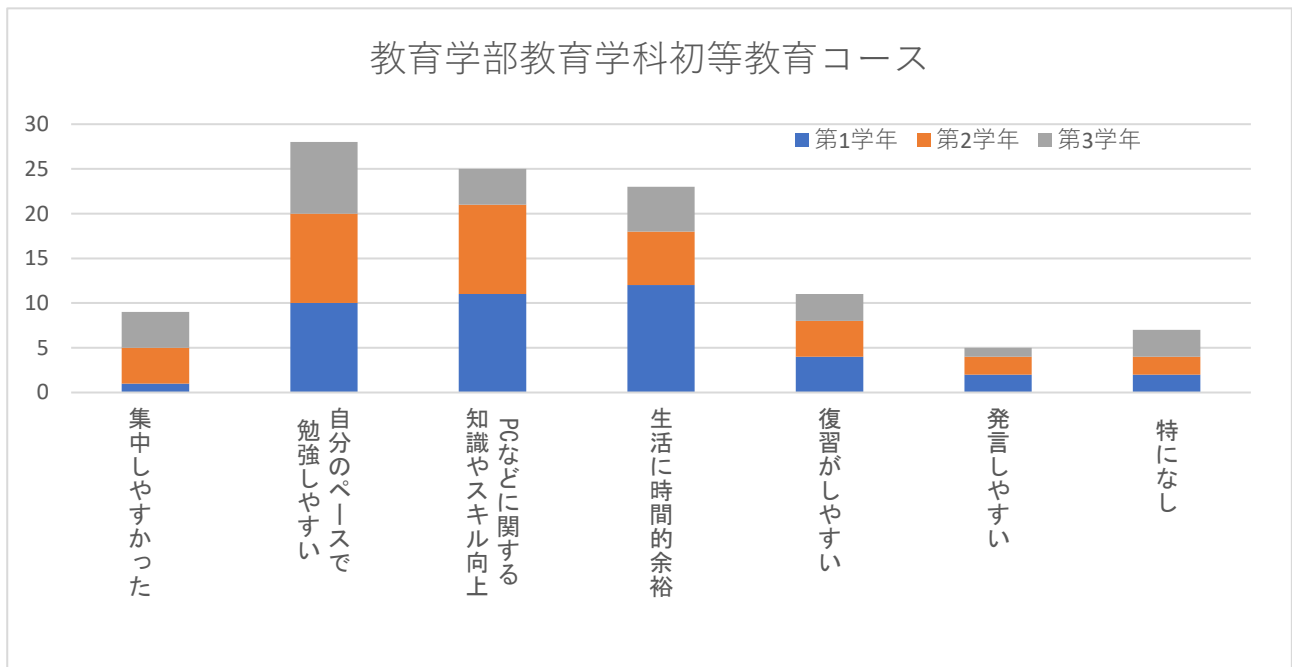
Q3. 学習環境

教育学部初等教育コース	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計
自分専用のPC	14	16	7		37
家族共用のPC	3		2		5
タブレット端末 (iPadなど)	1				1
スマートフォン			4		4
総計	18	16	13		47

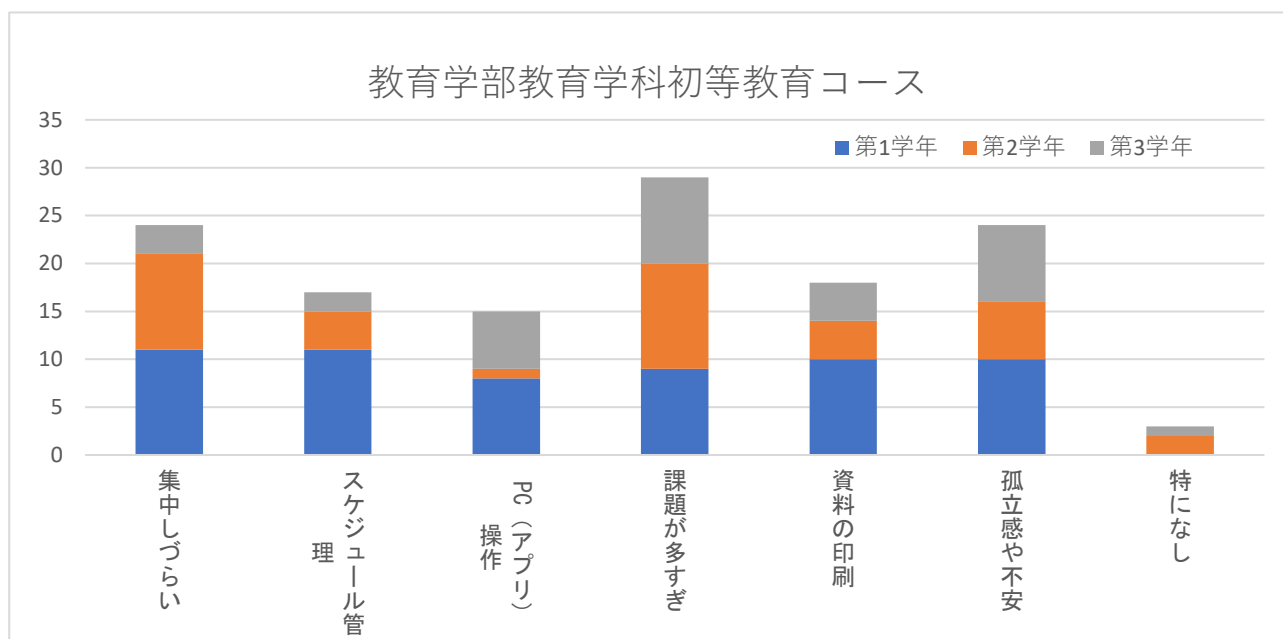
Q4. 通信環境

教育学部初等教育コース	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計
前期の開始時点からあった	13	15	10		38
前期の途中からあった	2		2		4
わからない	1				1
なかった (テザリングでPCのネット 接続を含む)	2	1	1		4
総計	18	16	13		47

Q5. メリット (複数回答可)



Q6. デメリット（複数回答可）



Q7. 全体的満足度

学科平均 **2.83** (標準偏差 0.86)

Q8～Q36. 授業スタイル別の満足度等

▼ 文書資料型

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	18	16	13	—	47
満足度平均	2.67	2.63	2.77	—	2.68

▼ 動画資料型

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	18	14	12	—	44
満足度平均	3.06	3.29	3.08	—	3.14

▼ ライブ型

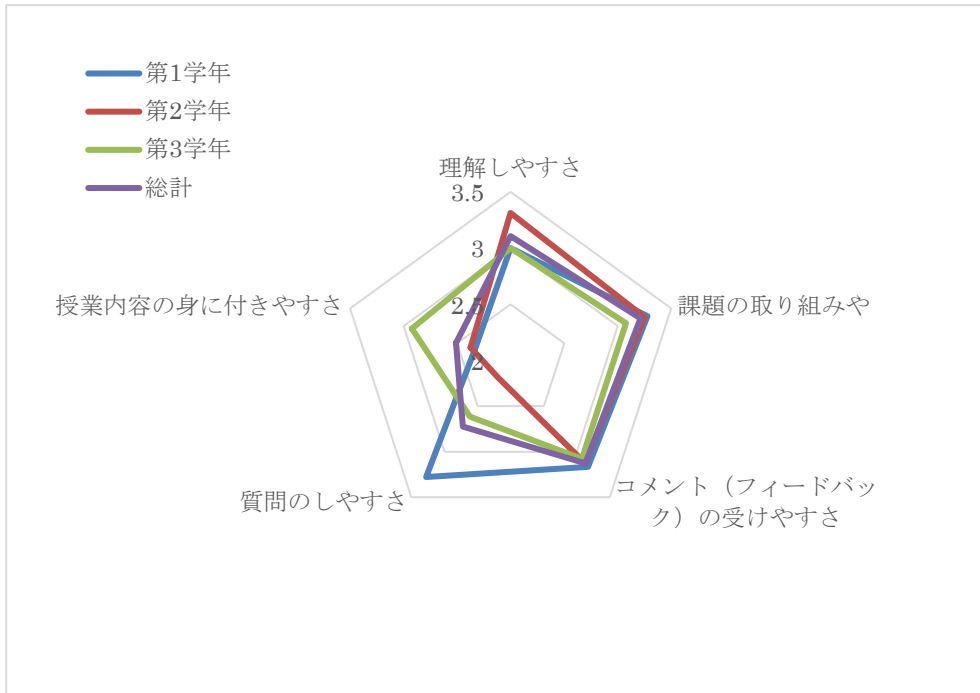
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	16	16	13	—	45
満足度平均	3.00	3.44	3.38	—	3.27

▼ 対面型授業

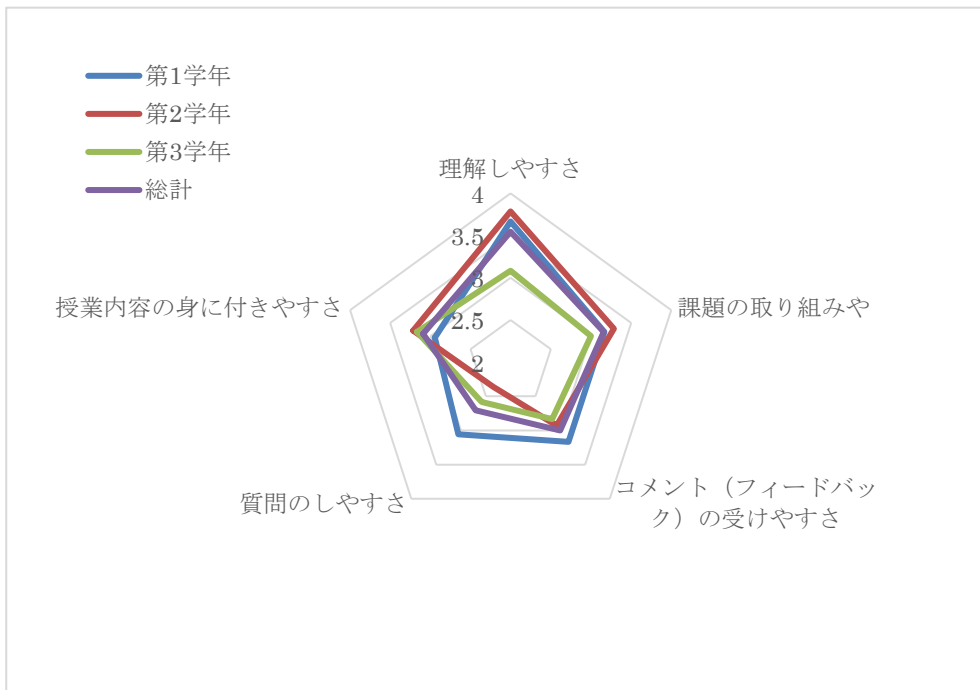
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計／全体
回答数	18	10	12	—	40
満足度平均	4.00	3.90	4.17	—	4.03

<項目別レーダーチャート>

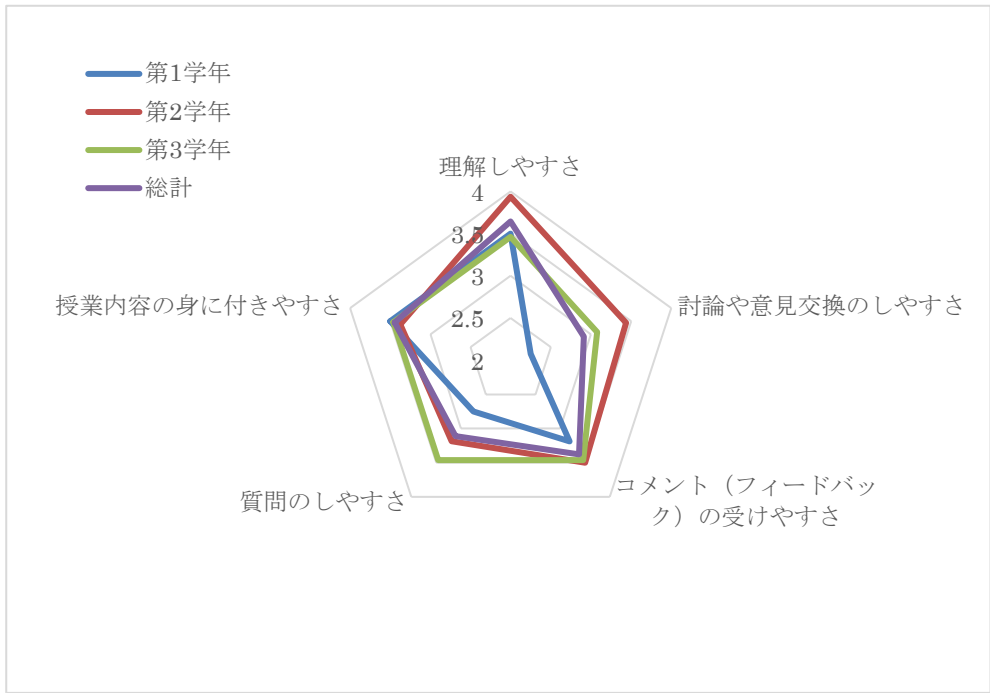
▼ 文書資料型



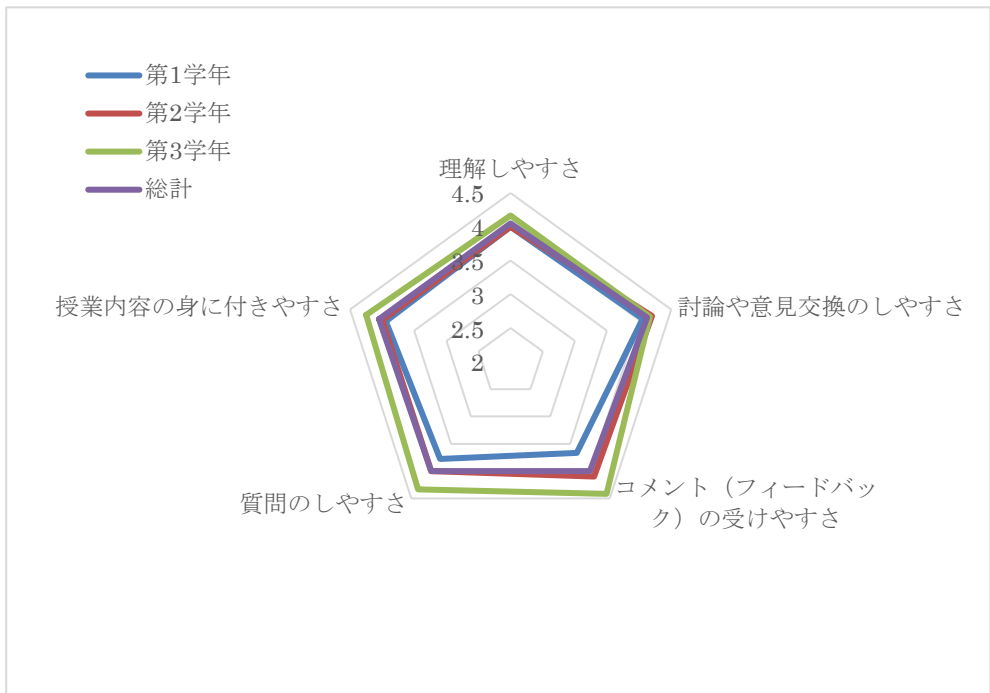
▼ 動画資料型



▼ ライブ型



▼ 対面型授業



■ 教育学部教育学科幼児教育コース

n=35 (第1学年 20、第2学年 9、第3学年 6)

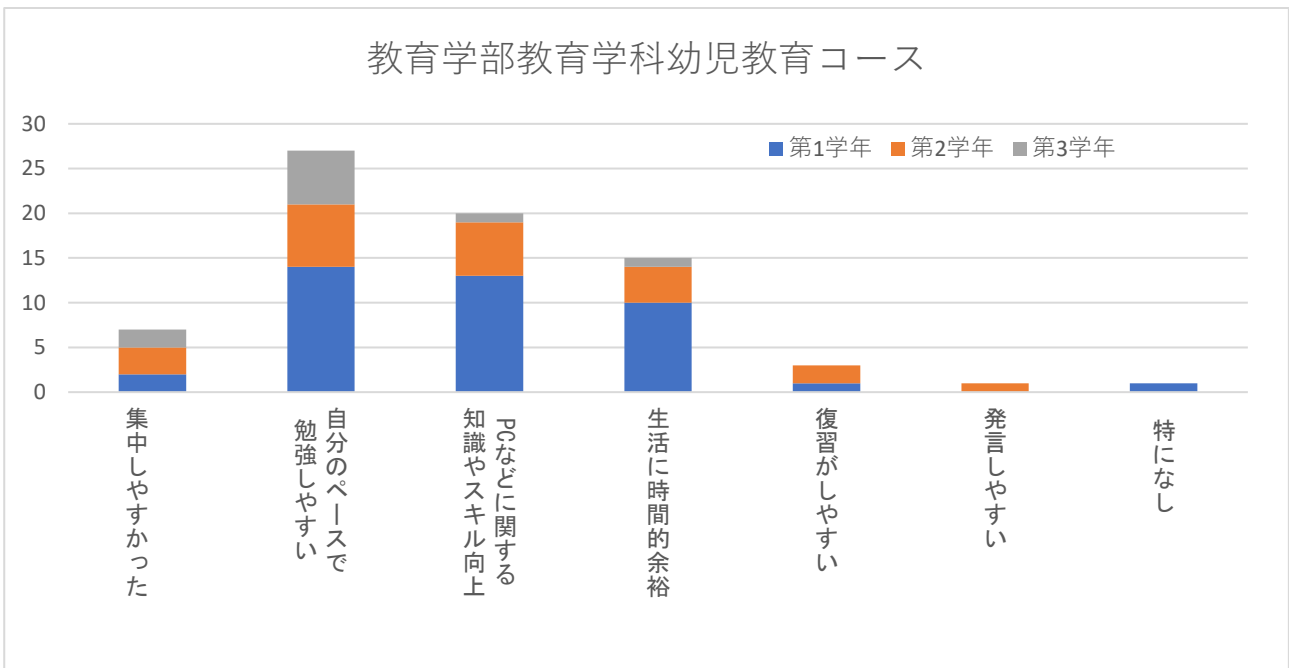
Q3. 学習環境

教育学部幼児教育コース	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計
自分専用のPC	12	5	3		20
家族共用のPC	8	3	2		13
スマートフォン		1	1		2
総計	20	9	6		35

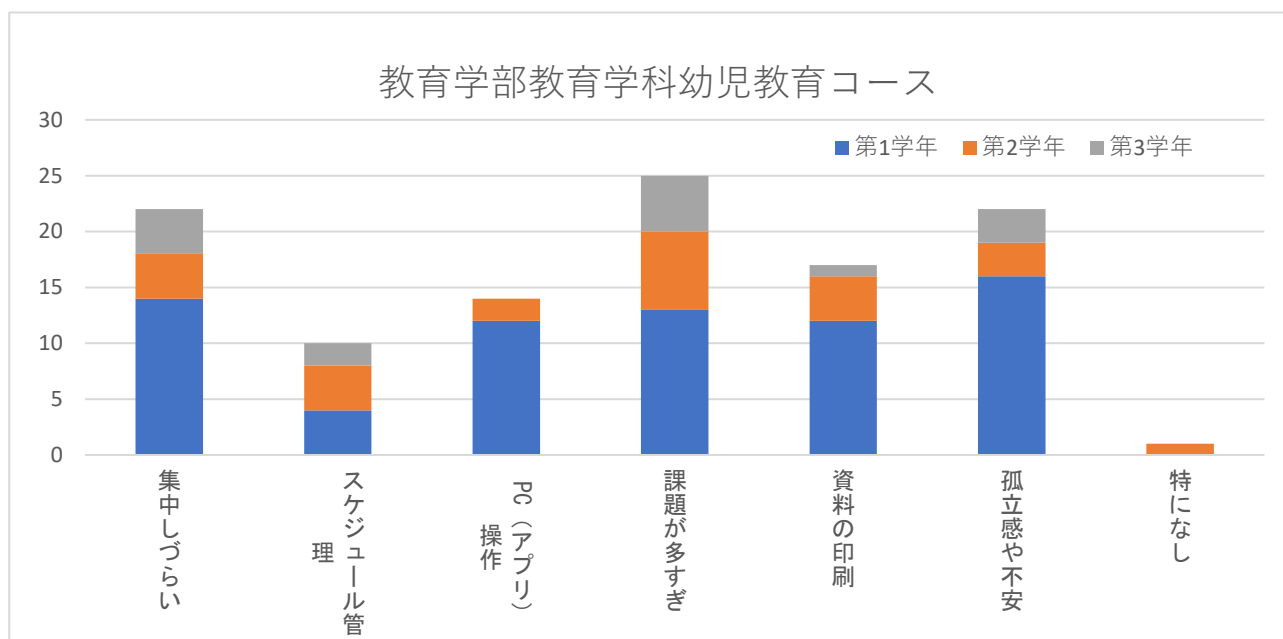
Q4. 通信環境

教育学部幼児教育コース	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計
前期の開始時点からあった	17	8	5		30
前期の途中からあった	3		1		4
わからない		1			1
総計	20	9	6		35

Q5. メリット (複数回答可)



Q6. デメリット（複数回答可）



Q7. 全体的満足度

学科平均 **2.77** (標準偏差 0.72)

Q8～Q36. 授業スタイル別の満足度等

▼ 文書資料型

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計/全体
回答数	20	9	6	—	35
満足度平均	2.75	3.56	2.50	—	2.91

▼ 動画資料型

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計/全体
回答数	20	9	6	—	35
満足度平均	3.10	3.67	3.00	—	3.23

▼ ライブ型

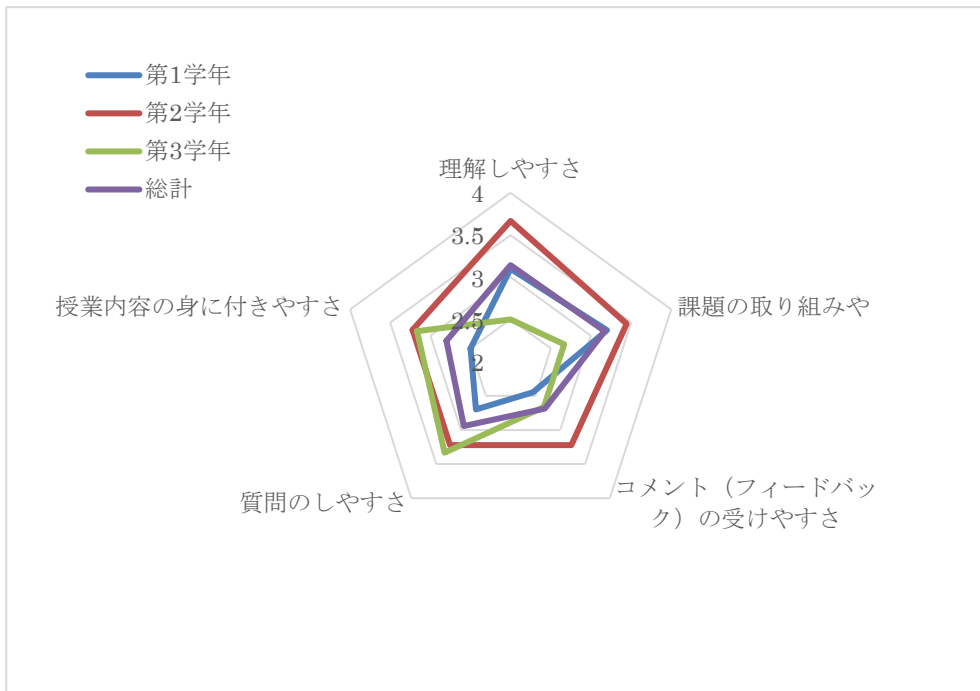
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計/全体
回答数	20	9	6	—	35
満足度平均	3.20	3.11	2.67	—	3.09

▼ 対面型授業

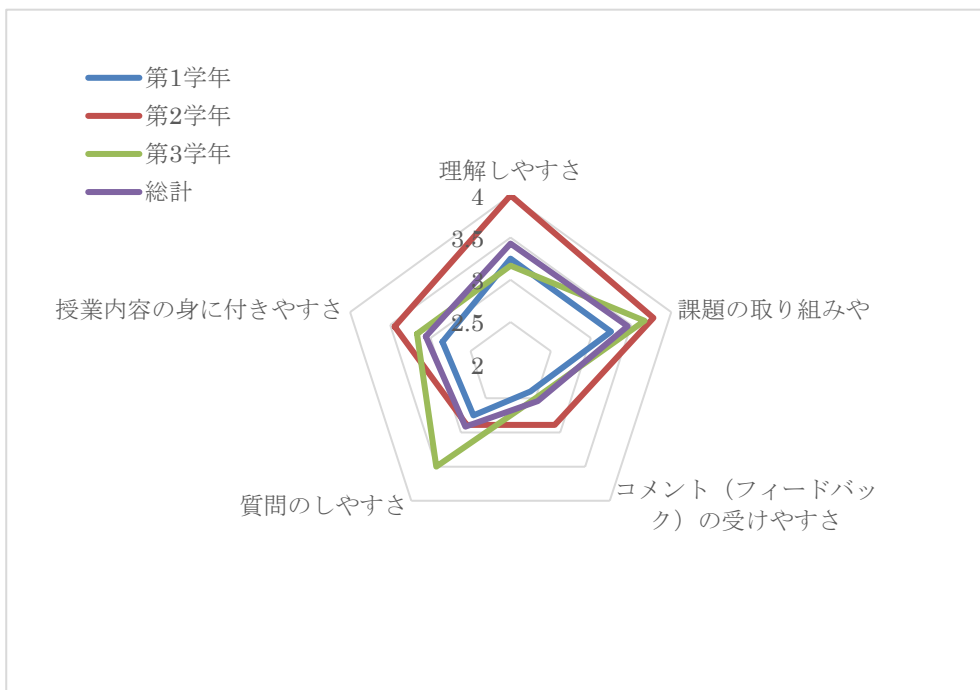
学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	総計/全体
回答数	20	7	6	—	33
満足度平均	4.15	4.29	3.83	—	4.12

<項目別レーダーチャート>

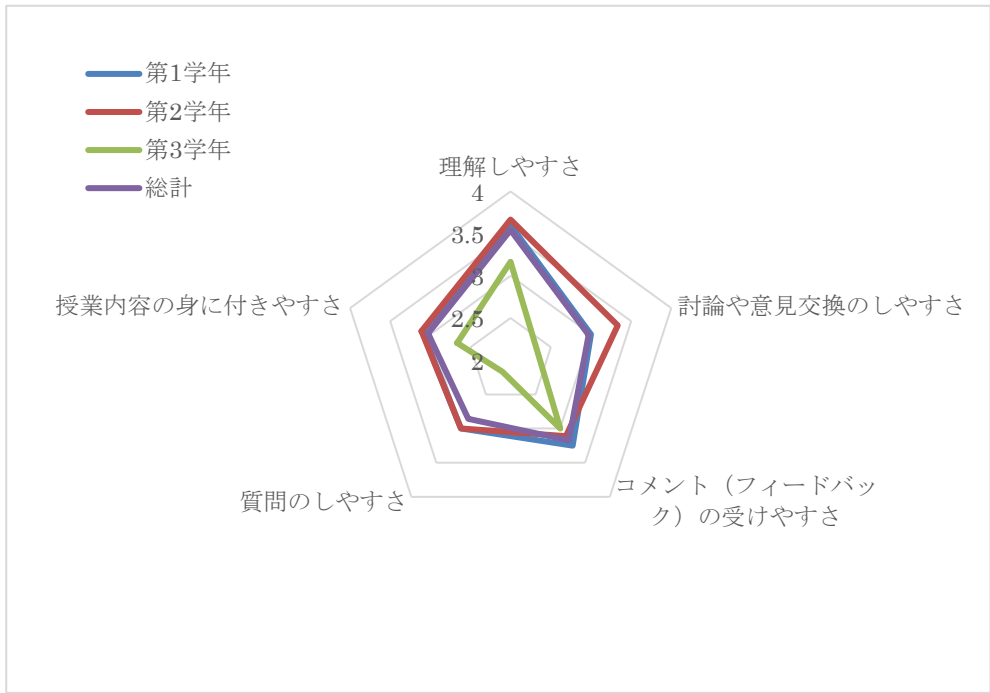
▼ 文書資料型



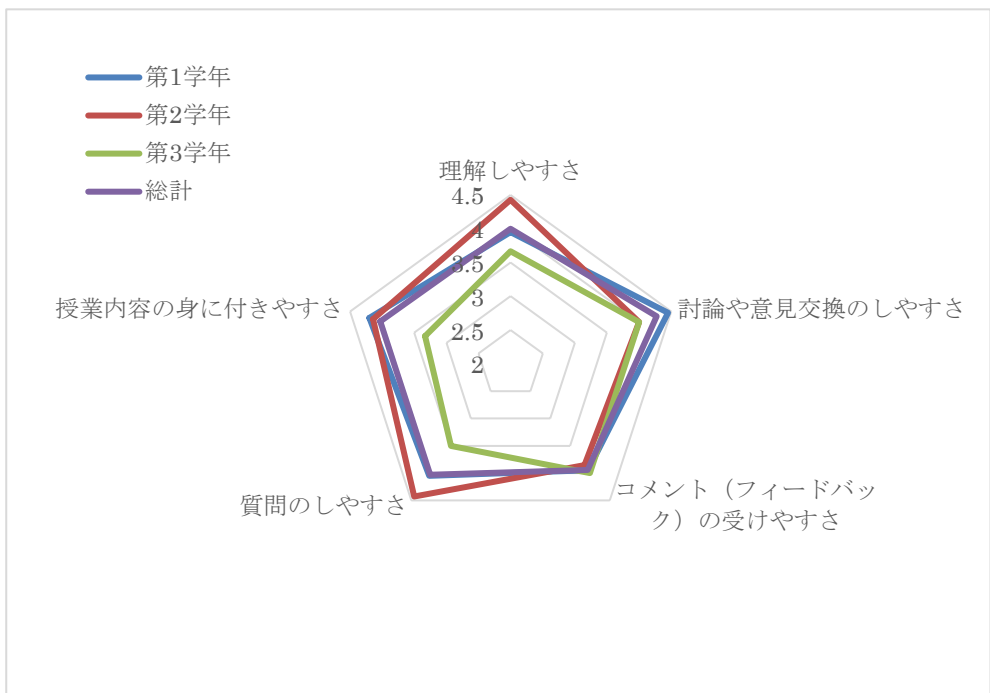
▼ 動画資料型



▼ ライブ型



▼ 対面型授業



自由記述

■ オンライン授業に関して感じたメリット・デメリット（Q5～Q6）

Q5とQ6で「その他」と回答した場合、短いコメントを添えることができる。実際にコメントを寄せた学生は少数ではあったが、例えばメリット面（Q5）では、

- ・コロナ感染の不安を避けられた
- ・就職活動と並行して受講できた
- ・自分でスケジュール管理ができるようになった

といった声が、またデメリット面（Q6）では、

- ・(Zoomなどの) 回線トラブル等で困った
- ・授業ごとに使用プラットフォーム（アプリケーション）が異なり不便だった
- ・課題を提出できたかどうか不安を感じた
- ・大学図書館に行けず課題ができないことがあった

といった声があがっていたことを、手短かながらここに紹介しておく。

■ 自由記述（Q37）

特に目についたのは、「課題が多すぎる」「授業料に見合わない」「先生からの返信が遅い（または「ない」）」「先生によって授業のクオリティのばらつきが大きすぎる」といった意見だった。他方で、「電車に乗らずに済んだ（コロナを回避できた）」「通学時間がない分、有意義に時間を使った」といった積極的評価の声も少なからず上がっていた。

以下ではカテゴリ別に、それらの意見の代表例をいくつか紹介したい。

<課題が多すぎる>

- ・とにかく課題が多かった印象です。特に何かしらの授業がないまま、課題を提出するのは、苦痛でした。せっかくその授業を取ったのにという残念な思いです。
- ・仕方のないことではあるが、課題の多さに翻弄された。一日でこなせる数は限られてくるので、次の週にまで持ち越してしまうこともあった。徐々に積み重なって行って、焦りを覚えた。また、学んでいるという実感がいまいち得られなかった。

- ・課題が多く感じた。1日に複数の内容ある課題をこなすのは辛かった。ユニパのクラスプロフィールでの課題の掲示はすごくわかりやすかったが、ホーム画面の方は情報が多すぎると授業ごとに情報が別れておらず、混在した状況だったため見逃しが多かった
- ・自宅学習だからと各授業が毎回それなりの量の課題を出してくるせいで他のことが手に付かず日常生活に支障が出たので課題についてはもう少し考えて出して欲しかった。
- ・ほぼ困ったことばかりでした。準備は仕方がないとはいえ、課題の量が尋常じゃなさすぎます。5個くらいの授業を受けているわけではなく、12個受けているのでその分の課題が出ます。それで毎回1000字以上のレポートを書かされます。ありえません。ついていけません。どうか教授たちにこの事実をお伝えください。
- ・一週間にどれだけ終わせても、平均6~8個の課題が常に出ている状態で、とにかく辛かったです。心配しての課題の催促かもしれないですが、「何日までなので気をつけてください」という旨の通知が来る度に追い立てられてる様な気がして、気が休まらず、強迫観念を感じました。学校からの通知が来るだけで、ノイローゼになりそうでした。

<授業料に見合わない>

- ・コロナで大学に入れないという状況にも関わらず、学費のうちの施設費を払っていることに疑問を感じました。
- ・オンライン授業の内容に関して、初めてのことだったのを考慮しても、学費に見合う内容ではなかったように感じる。学習支援金も、ネット環境を整えるにはあまりにも少額で、環境整備ができなかった。
- ・先生方に良いマイクとLANケーブルを支給してあげて欲しいです。前期の間ほとんど学内の設備を使用できませんでしたが、後期も同じような状況になるのであれば学費、設備使用料等の減額をお願いしたいです。
- ・高い学費を払っているのに授業もしないで課題だけをして過ごしている前期は本当に無駄に感じた。またオンライン上での授業プラス課題やレポートは過酷で一日中画面を見て過ごすのが当たり前だったし、生活リズムが崩れて体調を崩す日が多々あった。このようなことは後期ではしたくない。続いてほしくない。
- ・オンライン授業では、双方向の対話や質問ができないため、もどかしさを感じています。また、同じように学費を支払っているのに、自主学習的な内容しか授業では行っていないのも問題ありだと思います。

- ・授業内容が学費と見合っていないものがほとんどだった。学費を返してほしい。参考資料の必要な課題があり、自分で用意しなければならず、状況に合わないもので途中で止めるものも多くあった。また、息抜きがなかなかしづらい状態で課題量の多さにストレスが溜まって大学を辞めることも考えた。バイトも出来ず金銭面でも不安なことが多かったが PC やプリンターなどを用意しろと言われても困る。もう少し学生のことを考えてほしい。

<先生からの返信が・・・>

- ・課題提出後、先生からの評価コメント等がなかったため課題が提出できているのか分からず、不安を感じました。
- ・課題提出先のフォルダなどを作成せずに指示だけ出されることが何度もあり、質問したが提出日まで一切連絡が取れないことがあった。
- ・先生に質問をしようとしても返信が返ってこないことが多い。返ってきて提出期限ギリギリに返ってくるのがあって困った。課題の分量が多すぎて毎日徹夜続きで寝不足が続いた。本来の授業日に課題が出されず、遅れて出されたのにも関わらず提出期限は同じで取り組む時間が短くなり焦った。
- ・課題提出の欄に自分の作ったファイルが送れなかったというトラブルがあったのでそこを改善してほしいと思いました。先生が Q&A を見落としがちなどころがあるのでそこは気を付けていただきたいです。コロナで先生方も初めての取り組みであったにも関わらず一生懸命オンライン授業をしてくださりととても感謝しております。

<授業のクオリティのばらつき>

- ・ちゃんと授業せず授業資料だけを配布し課題という形式の授業があり、非常にやりにくかった。授業料とるならば、動画解説など工夫してほしい。
- ・明らかに教員が手を抜いているのではないかと思われる授業がいくつかあり、授業間でのムラが大きかった。授業の質が担保できないのであれば、中途半端にすることはやめて最初から休講にしてほしかった。
- ・大半の先生方が生徒のフィードバックに合わせて授業をアレンジしてくださったので、とても助かりました。ただ、一方的に資料が送りつけられるだけの授業もあり、モチベーションが上がらなかつたり、理解しにくかつたり、双方向な学びの感じを全く受けませんでした。

<コロナ回避>

- ・高齢者や持病持ちの家族と同居かつ遠方からの通学であったので、実際に大学に出向かずにオンライン授業を行えたことで、新型コロナウイルスの対策もでき、安心して学習や生活を送ることが出来ました。
- ・このような状況の中、学校に行くことが不安だったためオンライン授業でよかったと思いました。

<通学時間がなく有意義な時間>

- ・学校に行かなくて授業を受けられたので、余裕をもって授業を受けられた。しかし、自宅学習だと集中力長く持たなかった。
- ・登校するという時間を省けたので自分の勉強に取り組みやすかったとともに密度が高い電車に乗らなくて済んだので後期もこのままで行きたい。また、プリントを読んで取り組む課題があったとき、プリントだけでなく、解説動画も付けてくれた方がより理解が深まるので付けて欲しいと思った。

<その他>

- ・パソコンが苦手な為、色々と苦労した。大学から来るメールが多い為、重要な連絡を見落としていた事があり大変だった。
- ・オンデマンド授業はやりやすかったです。オンライン授業でマイクで話すのは良いのですが、ビデオをオンにするのは部屋が映ってしまうため困りました。
- ・自宅にプリンターがあるが、PDFのスキャン史料など黒インクを大量に使うので、紙やインク代がものすごくかかる。PCにマイクを装着しての授業についてだが、一人暮らしや自分の部屋を持っていない人もいる。生活音や周りでしゃべる声が授業の迷惑になると思い、自主的にマイクの不調として授業に取り組んでいた。その環境をわかってほしい。学校で授業を受けようとしたが、持ち込みPCに学内Wi-Fiが繋がらず断念した。
- ・初めは家の中で授業を受けれて楽だと思ったが、学校に行って直接授業を受けないとやる気にならないということが次第に分かった。パソコン相手に授業をしてもつまらない。もう二度とオンライン講義は受けたくないと思う。

- ・他の学生と会えないことが、こんなにも自分の学修のモチベーションに関わるとは思わなかった。大学の利点として、他の学生との交流の心理的コストの低さがあるが、それが物凄く高くなり、辛い。

結びに代えて

最後に、今回の集計結果から読み取られることをトピックごとにまとめ、本報告書の結びに代えたい。

▼ 1. 学生の学修環境の整備に対する支援

2020 年度前期、全面的にオンライン授業を実施するにあたり、最初の懸案は学生の学修環境の問題（PC、Wi-Fi 環境の有無等）だった。大多数ではなかったとしても、受講に際して周囲の学生と同じスタートラインに立てない学生が存在するという事実は軽視されるべきではない。満足度にも大きな差が見られた（cf. 本報告書 p.6）。

この点に関しては、（奨学金・支援金等の経済的援助や大学図書館の郵送サービスなど）実際に実施された対策が一定の効果を上げたと考えられるが、もし将来また全面的にオンライン授業を実施する必要が生じたならば、ポケット Wi-Fi の無償貸与等、学修環境面でのさらなる支援策の検討が重要となるだろう。

▼ 2. 学生の精神面でのケアと支援体制の整備

第1学年において、オンライン授業における「孤立感や不安」が特に強く観察された点は看過できない（pp.4-5）。より上の学年においても、各演習クラス（ゼミ）での指導教員による指導学生の学習状況や学生生活の把握が普段より困難となっていた可能性があり、注意を要する点であると考えられる。オンライン授業が全面的に実施される状況が再び訪れるのであれば、学生相談室等での支援活動にいかにして「つなぐ」かを含め、学生の精神面でのケアとその支援体制の拡充に関する検討が必要となってくる。

▼ 3. オンライン授業のメリットとデメリット

オンライン授業のメリットとして抽出されたのは、端的には《時間的・空間的制約からの解放》だったと言える（pp.3-4）。今後（対面とオンラインの）ハイブリッド授業のスタイルが導入されることがあるならば、一般企業におけるリモートワークと同様、オンラインのメリットとデメリットを把握した上での運用が求められる。

逆にデメリット面では「課題の多さ」（後述）が最も強く指摘されたが、授業スタイル別の満足度（pp.7-8）のことも考え合わせれば、とりわけ LMS（Learning Management System＝UNIPA、Moodle 等）を利用して授業資料をアップロードする形式において、授業が一方通行的になりやすく《双方向性》に弱点を抱える点が、より根本的だったと考えられる。

3-1. 学生に課す「授業課題の量」に関する注意点

授業課題の過多の問題は、今回の集計結果から抽出された最大の反省点の一つである。ある一人の学生が抱える課題の総量は、各科目を担当する教員側からは見えておらず、また確認も困難であることを前提として授業運営を考えていくべきかもしれない。2020 年度前期は未知の状況への対応に追われ、教員側も手探り状態の中、序盤で多めの課題を要求してしまっただけで前期途中で軌道修正が効かなくなったというケースも多かったのではないだろうか。

振り返ってみれば、課題提出を求める際に、それが各回の出席確認のためなのか、それとも授業内容の理解度を確認するためなのか等、「目的」によって課題の要求内容や分量は変わってくるはずである。しかしその点が曖昧になると、学生側と教員側、双方の負担が膨れ上がるという現象が起こる。

この場合、課題提出を求める「目的」を明確に意識して、軽重を使い分けるといった方法が、学生側・教員側の双方に過剰な負荷が発生するのを避ける上で、有効な解決策になると考えられる。なお、授業全体での理解度を問うのが目的であれば、(期末試験・期末レポートのような)学期末課題も利用可能であり、かつ目的に沿った方法ということになる。他方、各回の出席確認が主目的であれば、UNIPA、Microsoft Forms 等の簡易 Web アンケート機能を用いるという手段もある。

3-2. 「文書資料型」の授業運営に関する注意点

授業スタイル別の満足度ではもっとも低スコアとなった「文書資料型」だが、特に 2020 年度前期の序盤においてはまだ学生側の学修環境が把握されておらず、「学生に負担をかけない」このスタイルが多くの科目において第一選択となっていた。実際の運用では学生側・教員側の双方において、UNIPA の使用法への習熟が進められたことは記憶に留めておくべきだろう。

ただし「文書資料型」は、オンライン授業のデメリットが表面化しやすいスタイルであったことも事実であり、アップロードした授業資料の内容に関する説明・解説が不十分でないかどうか(学生側から見た場合の理解しやすさ)に、つねに気をつけておく必要があることが、今回の調査結果からも把握された。

3-3. フィードバックの重要性について

特に LMS を利用したオンライン授業が抱える《双方向性の弱さ》という弱点は、上述した学生の「孤立感や不安」、および「課題の多さ」の問題とも関連している。学生がともすれば、独りでディスプレイに向かい、日々虚空に向かって課題を提出させられているような感覚を徐々に抱いていく様子は、自由記述欄に寄せられた回答からも読み取られた。教員からの返信が遅い、連絡が取れないという声も、そのバリエーションであったと分析できる。

この点に関しては、学生からの質問や提出課題について、フィードバックを行う機会および手段の確保と強化を行うことが、最善の対策となるだろう。他方で「学生間」での意見交換・交流の手段確保の難しさは、オンライン授業全般に内在する弱点として、今回抽出されたポイントの一つであったことを申し添えておく。

▼ おわりに——「教育の質」の担保と向上を目指して

ある学生はこう述べた。「他の学生と会えないことが、こんなにも自分の学修のモチベーションに関わるとは思わなかった」(p.54)。ただ同じ教室にいただけでも、学生間には周囲の他者との目に見えない相互作用が起こっている。

やや逆説的だが、今回の調査で強く再確認されたのは、教育のうち、教員側でコントロールできる範囲は限られているということだっただろう。いわゆる「教育の質」も、①教員側の要因、②学生側の要因、③学修環境に関する要因といった複数の位相が重なり合って構成されており、この 2020 年度前期は③の部分に著しい変化が生じたがゆえに、そこがボトルネックとなったと言える。

オンライン授業のさまざまな方法論や効果、メリットとデメリットに関する検討は、また始まったばかりであるが、今回の調査結果が今後の検討のための一つの足がかりになり、本学の「教育の質」の担保および向上のため役立てられることを切に願っている。

◆ 授業をより良くするために ◆
2020 年度前期授業に関する学生アンケート
ご協力のお願い

2020 年度前期授業に関する学生アンケートを以下の要領で実施いたしますので、ご協力どうぞ宜しくお願いいたします。

大谷大学
学長 木越 康

1. 目的

本アンケートは、本年度前期の授業を振り返り、主にオンライン授業（Web による遠隔授業）の学修効果を把握するために実施いたします。

2. 取扱い方針

- (1) アンケートの回答は、本学の教育課程・教育プログラムの改善等に役立てるために、コンピューター等を利用した統計分析に利用する場合があります。
- (2) このアンケートは、成績評価とはまったく関係がありません。ご回答いただいた個別の情報は統計的に処理を施し、個人が特定できる形で公表することは一切ありませんので、安心して回答してください。
- (3) アンケートの速報結果については、OTANI UNIVERSITY UNIVERSAL PASSPORT でお知らせいたします。後日、結果報告書を大学ホームページで公開します。

3. 実施時期

2020 年 7 月 27 日（月）～8 月 7 日（金）

4. 対象

学部生第 1～第 4 学年、短期大学部生、大学院生、その他（科目等履修生等）

5. 実施方法

- (1) 回答方法は、全て WEB 方式（Microsoft Forms）です。
- (2) アンケートの回答時間は、概ね 5 分から 15 分程度と見込まれます。

6. アンケートの回答方法

スマートフォンやタブレット端末、PC から、以下の URL または QR コードにアクセスして回答ください。

URL : <http://web.otani.ac.jp/survey/202001>



2020 年度前期授業に関する学生アンケート

本アンケートは、本年度前期の授業を振り返り、主にオンライン授業（Web による遠隔授業）の学修効果を把握するために実施いたします。

アンケートは匿名で行われ、みなさんの成績評価には一切関係しません。ご回答いただいた個別の情報は統計的に処理を施し、個人が特定できる形で公表することは一切ありませんので、安心して回答してください。ご回答どうぞよろしく願いいたします。

（1）学年、学科、学修環境

問1 [学年] あなたの学年を教えてください。

- ・第1学年 ・第2学年 ・第3学年 ・第4学年 ・その他（科目等履修生、聴講生など）

問2 [所属学科] あなたの所属する学科（またはコース）を教えてください。

- ・文学部：真宗学科（学生番号 xxA1xxx または xx41xxx）
- ・文学部：仏教学科（学生番号 xxA2xxx または xx42xxx）
- ・文学部：哲学科（学生番号 xxA3xxx または xx43xxx）
- ・文学部：歴史学科（学生番号 xxA5xxx または xx45xxx）
- ・文学部：文学科（学生番号 xxA6xxx または xx46xxx）
- ・文学部：国際文化学科（学生番号 xxA7xxx または xx47xxx）
- ・文学部：社会学科（学生番号 xx44xxx）
- ・文学部：人文情報学科（学生番号 xx48xxx）
- ・文学部：教育・心理学科（学生番号 xx49xxx）
- ・社会学部：現代社会学科（学生番号 xxB1xxx）
- ・社会学部：コミュニティデザイン学科（学生番号 xxB2xxx）
- ・教育学部教育学科：初等教育コース（学生番号 xxC1xxx）
- ・教育学部教育学科：幼児教育コース（学生番号 xxC2xxx）
- ・大学院（修士課程）
- ・大学院（博士後期課程）
- ・その他（短期大学部、科目等履修生など）

問3 [学修環境] 以下の選択肢のうち、あなたが今期のオンライン授業でもっとも多く使用したものを、1つだけ選んでください。

- ・自分専用のPC ・家族共用のPC ・タブレット端末（iPad など） ・スマートフォン
- ・その他の機器

問4 [学修環境] ご自宅等、あなたが前期もっともよく授業を受けていた場所に、通信料金（通

信量の上限)を気にせずに使用できるインターネット環境(PCの有線または無線LAN環境、スマートフォン用Wi-Fi環境など)はありましたか。以下の選択肢から1つ選んでください。

- ・前期の開始時点からあった
- ・前期の途中からあった
- ・なかった(スマートフォンでテザリングしてPCをインターネット接続する場合を含む)
- ・わからない

(2) 全体的なメリット、デメリット、満足度

以降しばらく、前期のオンライン授業のことについてお尋ねします。

問5 [全体的メリット] 前期全体を振り返って、オンライン授業の「メリット」(長所・良かった点)について、あてはまると思うものを「すべて」選んでください(複数選択可)。個々の授業についてではなく、この前期の全体的印象についてご回答ください。

- ・自宅で学修でき、授業に集中しやすかった
- ・自分のペースで勉強しやすかった
- ・PCやアプリケーション操作などに関する知識やスキルが上がった
- ・大学まで来る必要がなく、生活に時間的余裕ができた
- ・オンライン教材なので、復習がしやすかった
- ・周囲に学生がいない状況で、発言しやすかった
- ・特になし
- ・その他()

問6 [全体的デメリット] 前期全体を振り返って、オンライン授業の「デメリット」(短所・困った点)について、あてはまると思うものを「すべて」選んでください(複数選択可)。個々の授業についてではなく、この前期の全体的印象についてご回答ください。

- ・自宅学修だと授業に集中しづらかった
- ・自分ひとりでは授業のスケジュール管理がしづらかった
- ・PCやアプリケーション操作が苦手で、全般的に受講に苦勞した
- ・課題が多すぎて、生活に時間的余裕がなかった
- ・オンライン教材なので、毎回の資料の印刷に苦勞した
- ・周囲の学生と一緒に学べず、孤立感や不安を感じた
- ・特になし
- ・その他()

問7 [全体的満足度] この前期を振り返って、オンライン授業に関する全体的な満足度はどうでしたか。5点満点で評価してください。

- ・1点 ・2点 ・3点 ・4点 ・5点

(3) 授業スタイル4種（文書資料、動画資料、ライブ型、対面型）の全体的な印象

以降しばらく、代表的な授業スタイル4種（文書資料、動画資料、ライブ型、対面型）について質問します。

(3) - 1 [文書資料+課題提出型] (UNIPA 等)

問 8 「文書ファイル (Word、PDF など)」の形式で、授業資料や課題指示が与えられるタイプの授業についてお尋ねします。あなたはこのタイプの授業を受講しましたか？

・はい ・いいえ

以下の質問は、先ほどの質問で「はい」を選択した方のみにお尋ねします。個々の授業についてではなく、「文書ファイル (Word、PDF など)」の形式で、授業資料や課題指示が与えられるタイプの授業の全体的印象についてご回答ください。（「いいえ」を選んだ方は、「問 15」から回答を続けてください。）

問 9 [文書資料] 資料（教員の話）の理解しやすさはどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1点 ・2点 ・3点 ・4点 ・5点

問 10 [文書資料] 課題の取り組みやすさはどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1点 ・2点 ・3点 ・4点 ・5点

問 11 [文書資料] 教員からのコメント（フィードバック）の受けやすさはどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1点 ・2点 ・3点 ・4点 ・5点

問 12 [文書資料] 教員への質問のしやすさはどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1点 ・2点 ・3点 ・4点 ・5点

問 13 [文書資料] 授業内容の身に付きやすさはどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1点 ・2点 ・3点 ・4点 ・5点

問 14 [文書資料] この授業スタイルへの全体的な満足度はどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1点 ・2点 ・3点 ・4点 ・5点

(3) - 2 [動画資料+課題提出型] (UNIPA 等)

問 15 「動画資料 (youtube、音声付き PowerPoint など)」の形式で、授業資料や課題指示が

与えられるタイプの授業についてお尋ねします。あなたはこのタイプの授業を受講しましたか？

・はい ・いいえ

以下の質問は、先ほどの質問で「はい」を選択した方のみにお尋ねします。個々の授業についてではなく、「動画資料（youtube、音声付き PowerPoint など）」の形式で、授業資料や課題指示が与えられるタイプの授業の全体的印象についてご回答ください。（「いいえ」を選んだ方は、「問 23」から回答を続けてください。）

問 16 [動画資料] 資料（教員の話）の理解しやすさはどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1 点 ・2 点 ・3 点 ・4 点 ・5 点

問 17 [動画資料] 課題の取り組みやすさはどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1 点 ・2 点 ・3 点 ・4 点 ・5 点

問 18 [動画資料] 教員からのコメント（フィードバック）の受けやすさはどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1 点 ・2 点 ・3 点 ・4 点 ・5 点

問 19 [動画資料] 教員への質問のしやすさはどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1 点 ・2 点 ・3 点 ・4 点 ・5 点

問 20 [動画資料] 授業内容の身に付きやすさはどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1 点 ・2 点 ・3 点 ・4 点 ・5 点

問 21 [動画資料] この授業スタイルへの全体的な満足度はどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1 点 ・2 点 ・3 点 ・4 点 ・5 点

問 22 [動画資料] 授業 1 回あたりの動画資料は、何分くらいの長さが適切だと思いますか（複数本に分かれている場合は合計値でお答えください）。以下の選択肢から 1 つ選んでください。

・10 分 ・20 分 ・30 分 ・45 分 ・60 分 ・90 分 ・わからない

(3) - 3 [ライブ（リアルタイム）型] (Microsoft Teams、Zoom 等)

問 23 Microsoft Teams や Zoom 等を使って、教員と学生の間でリアルタイム・双方向型のや

り取りが行われるタイプの授業についてお尋ねします。あなたはこのタイプの授業を受講しましたか？

・はい ・いいえ

以下の質問は、先ほどの質問で「はい」を選択した方のみにお尋ねします。個々の授業についてではなく、教員と学生の間でリアルタイム・双方向型のやり取りが行われるタイプの授業の全体的印象についてご回答ください。（「いいえ」を選択した方は、「問 30」から回答を続けてください。）

問 24 [ライブ型] 資料（教員の話）の理解しやすさはどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1 点 ・2 点 ・3 点 ・4 点 ・5 点

問 25 [ライブ型] 学生間の討論や意見交換のしやすさはどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1 点 ・2 点 ・3 点 ・4 点 ・5 点

問 26 [ライブ型] 教員からのコメント（フィードバック）の受けやすさはどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1 点 ・2 点 ・3 点 ・4 点 ・5 点

問 27 [ライブ型] 教員への質問のしやすさはどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1 点 ・2 点 ・3 点 ・4 点 ・5 点

問 28 [ライブ型] 授業内容の身に付きやすさはどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1 点 ・2 点 ・3 点 ・4 点 ・5 点

問 29 [ライブ型] この授業スタイルへの全体的な満足度はどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1 点 ・2 点 ・3 点 ・4 点 ・5 点

(3) - 4 [対面型授業] (大学の教室での授業)

問 30 あなたは大学に登校して教室で受講する対面型の授業を受講しましたか？

・はい ・いいえ（事情により登校を見合わせていた場合もこちらを選んでください）

以下の質問は、先ほどの質問で「はい」を選択した方のみにお尋ねします。個々の授業についてではなく、大学に登校して教室で受講する対面型の授業の全体的印象についてご回答ください。

(「いいえ」を選択した方は、「問 37」から回答を続けてください。)

問 31 [対面型授業] 資料(教員の話)の理解しやすさはどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1 点 ・2 点 ・3 点 ・4 点 ・5 点

問 32 [対面型授業] 学生間の討論や意見交換のしやすさはどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1 点 ・2 点 ・3 点 ・4 点 ・5 点

問 33 [対面型授業] 教員からのコメント(フィードバック)の受けやすさはどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1 点 ・2 点 ・3 点 ・4 点 ・5 点

問 34 [対面型授業] 教員への質問のしやすさはどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1 点 ・2 点 ・3 点 ・4 点 ・5 点

問 35 [対面型授業] 授業内容の身に付きやすさはどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1 点 ・2 点 ・3 点 ・4 点 ・5 点

問 36 [対面型授業] この授業スタイルへの全体的な満足度はどうでしたか。5 点満点で評価してください。

・1 点 ・2 点 ・3 点 ・4 点 ・5 点

(4) 自由記述

問 37 [自由記述] 最後に、この前期授業に関して、学修面で特に困ったこと、あるいは逆に良かった点、その他大学に伝えたいことなどありましたら、以下の自由記述欄にお書きください(空欄のままでも結構です)。文字数はなるべく 100 字以内で簡潔にお願いします。なお、具体的な個人名や授業科目名は、絶対に書かないようにしてください(無効回答になります)。

アンケートは以上です。ご協力どうもありがとうございました。集計結果は 2020 年秋頃に大学ホームページ上に公開される予定です。